

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 02

事務事業名	としまチケットセンター運営経費	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	-----------------	------	-------	---------

事業特性												
事業開始年度	元年度	事業終了年度	計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	-	1	-	1	-	14
単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託									
事業を構成する予算事業	① としまチケットセンター運営経費			②								

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち			政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進				
施策	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備			施策番号	8-1-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本への推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市			
施策の目標	質の高い文化芸術活動を地域等と連携しながら展開し、豊島区の文化芸術の全体的な質の向上と活性化を図ります。								

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民・来街者								
	事業の目的・期待する効果	インバウンドを始めとして国内外からの観光客に対する観光情報等の発信を通して豊島区・池袋Harezaの来街者を増やす。								
	事業概要	芸術文化劇場のオープンを契機とし、従来のとしまチケットセンターの規模とサービスを拡大し、としま区民センター内に開設した。								
基礎データ (事業のための資産 利用者等の情報)	としま区民センター1階									
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
	①	芸術文化劇場入場者数	↗	人	87,302	75,351	150,000	228,183	150,000	
	②									
	③									
	指標の説明	チケットセンターでの販売や問い合わせなどにより、芸術文化劇場の入場者数が増えることになる。令和3年度の計画値はコロナ禍により設定はしない。								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)	としま未来文化財団に業務委託 芸術文化劇場、舞台芸術交流センターなどの公演チケット販売を実施。								
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
	①	チケット販売枚数	↗	枚	17398	9303	10000	10993	10000	
	②									
	③									
指標の説明	当日券や前売り券などを取り扱うことが活動指標となる。令和3年度の計画値はコロナ禍により設定はしない。									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)
事業費	A	40,000	50,740	51,235	39,463	77.0%	49,833	10,370
人件費	【正規(人数)】	(0.00)	(0.00)	—				—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—				—
	人件費 B	B	0	0	—	0		0
事業費(人件費含む)	C=A+B	40,000	50,740	—	39,463		49,833	10,370
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	40,000	50,740	—	39,463		49,833	10,370

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

近年はインターネット上での電子申請や電子決済が主流となりつつあり、業務の拡大予定はない。一方で、予算のほとんどが委託先への人件費であり、現状では減員することが難しい。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 03

事務事業名	舞台芸術交流センター管理運営経費	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	------------------	------	-------	---------

事業特性													
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	-	1	-	1	-	4
単独／補助	区単独事業	運営形態	指定管理者										
事業を構成する予算事業	① 舞台芸術交流センター管理運営経費			②									

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち			政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進				
施策	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備			施策番号	8-1-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標		日本の推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市	
施策の目標	質の高い文化芸術活動を地域等と連携しながら展開し、豊島区の文化芸術の全体的な質の向上と活性化を図ります。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民・来街者							
	事業の目的・期待する効果	舞台芸術交流センター（あうるすぽっと）の維持管理及び舞台芸術公演、各種講座・ワークショップ等を実施する。							
	事業概要	舞台芸術交流センターの維持管理及び舞台芸術公演、各種講座・ワークショップ等の事業を実施する。施設の管理運営は指定管理者が行う。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	豊島区東池袋4-5-2ライズアリーナビル2・3階 床面積：2,931.19㎡（2階1,702.9㎡、3階1,228.29㎡） 客席数：301席 会議室A 約60㎡/33名 会議室B 約180㎡/110名								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 劇場入場人数	→	人	70,334	15,966	81,000	36,706	40,000
		②							
		③							
	指標の説明	舞台芸術交流センターの劇場への入館者数							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による。					
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）								
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 自主企画公演回数	→	回	37	28	66	48	50
		② 区民シリーズ	→	日	10	2	10	6	10
	③ 講座・ワークショップ	→	数	10	3	10	24	10	
	指標の説明	施設のコンセプトである「文化・芸術の拠点」「にぎわいの創出」「地域コミュニティの創出」を踏まえ、それぞれの指標を設定した。							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による。					

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)		
事業費	A	203,584	213,963	185,603	178,344	96.1%	148,173	-30,171	
人件費	【正規(人数)】	(0.75)	(0.75)	—	(0.70)		(0.70)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	6,375	6,375	—	5,950		5,950	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	209,959	220,338	—	184,294		154,123	-30,171	
財源内訳	国、都支出金				10,591			-10,591	
	使用料・手数料	D			2,764	3,938	2,764	-1,174	
	地方債・その他		2,617	2,724				0	
	一般財源	E=C-D	207,342	217,614	—	169,765		151,359	-18,406

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
利用者の特性に合わせて施設を選択できるよう、貸館機能としての比率を高めるなど、施設運営を行う必要がある。施設を運営し15年間が経過しているため、今後も未永く利用される劇場として維持するよう施設改修や備品の交換などを進めていく必要がある。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 04

事務事業名	池袋西口公園野外劇場関係経費	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	----------------	------	-------	---------

事業特性												
事業開始年度	元年度	事業終了年度	計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	-	1	-	1	-	15
単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託									
事業を構成する予算事業	① 池袋西口公園野外劇場関係経費				②							

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち			政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進				
施策	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備			施策番号	8-1-1 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本への推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市				
施策の目標	質の高い文化芸術活動を地域等と連携しながら展開し、豊島区の文化芸術の全体的な質の向上と活性化を図ります。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民・来街者							
	事業の目的・期待する効果	演劇やダンス、本格的な音楽会などにも対応できる舞台と大型ビジョンを併設した野外劇場を整備し、池袋西口公園を劇場公演として、良質な文化の発信拠点として、また、街のにぎわい創出に寄与することを目的とする。							
	事業概要	野外劇場の使用に関する申請や劇場運営を行う。また大型ビジョンの運営についても行う。事業はとしま未来文化財団に委託している。							
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	豊島区西池袋1-8-26 鉄筋鉄骨造 地上2階地下1階 敷地面積:3,123.19㎡ 建築面積:275㎡ 延床面積:634㎡ 使用料:平日150,000円、休日200,000円、音響設備12,000円、照明設備21,000円								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	文化芸術に触れる機会が多くなった	↗	%	20.3	21.7	44.0	31.4	46.0
	②								
	③								
	指標の説明	企画課 協働のまちづくりに関する区民意識調査 「文化芸術に触れる機会が多くなった（豊島区の文化芸術の魅力が国内外に発信されている）」どちらかといえばそう思うと答えた割合。 新型コロナウイルス感染症の影響が不明確なため、令和3年度の計画値を設定していない。							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	Evening Music Yubeの開催 東京芸術祭公演 一般イベント 等							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	稼働日数	↗	日	23	27	100	66	200
	②	使用料徴収金額	↗	円	3,726,000	1,222,000	1,000,000	2,559,000	1,000,000
	③								
指標の説明	利用実績 新型コロナウイルス感染症の影響が不明確なため、3年度の計画値は設定しない。								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による。						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 (R3決算比)	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	194,790	121,569	102,584	72,126	70.3%	103,464	31,338	
人件費	【正規(人数)】	(1.00)	(0.60)	—	(0.60)		(0.70)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—				—	
	人件費 B	B	8,500	5,100	—	5,100		5,950	850
事業費(人件費含む)	C=A+B	203,290	126,669	—	77,226		109,414	32,188	
財源内訳	国、都支出金								0
	使用料・手数料	D	3,726	3,601	2,000	3,964		2,000	-1,964
	地方債・その他		82,162						0
	一般財源	E=C-D	117,402	123,068	—	73,262		107,414	34,152

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて施設をより効率的・効果的に運営するための検討をしていく。
--------------------------------	--

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 05

事務事業名	文化芸術創造支援事業	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	------------	------	-------	---------

事業特性													
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	-	1	-	1	-	5
単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託										
事業を構成する予算事業	① 文化芸術創造支援事業経費			②									

政策体系（令和3年度基本計画）												
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち				政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進						
施策	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備				施策番号	8-1-1 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本への推進力の一翼を担う国際アート・カルチャー都市						
施策の目標	大学やNPO、企業等と連携を図りながら地域における文化芸術活動を牽引、支援するとともに文化の創造・推進を担う人材を育成します。											

1. 事業の概要												
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民										
	事業の目的・期待する効果	NPO等と連携を図りながら地域における文化芸術活動を牽引、支援するとともに文化の創造・推進を担う人材を育成し、国際アート・カルチャー都市の基盤を形成する。										
	事業概要	アート系NPO法人に区立施設を無償貸与し、同法人等の管理のもと、「にしがも創造舎」として運営し、舞台芸術等の創造環境を整備するとともに、稽古場運営やワークショップ開催等の文化創造活動を支援する。 (平成28年移転に伴い、稽古場運営を終了。対外的な名称として「にしがも創造舎」は使用終了。) 平成31年(令和元年)9月1日～令和3年3月31日まで旧真和中学校の親課として施設の維持管理業務を担当。										
基礎データ (事業のための資産 利用者等の情報)	平成16年8月より旧朝日中学校を無償貸与→旧朝日中学校が巣鴨北中学校の仮校舎として使用されることになったため、平成28年6月末に東部区民事務所に移転→平成29年6月に再度、旧真和中学校に移転。今後の移転先について調整中。											
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)			
	①	多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い。	↗	%	40.6	42.5	43	31.4	43			
	②											
	③											
指標の説明	①協働のまちづくりに関する区民意識調査で、「目指すべき生活環境に対する現在の評価」について、「多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い」に「どちらかというと思う」と答えた人の割合											
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	「文化芸術に触れる機会が多くなった」に質問となり、指標の内容が変更となったため。									
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)	としまアート夏まつり、アーカイビングF/Tオンライントーク、東京芸術祭インターンシップ・プログラム、東京芸術祭ダイアログプラス										
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)			
	①	ワークショップ開催回数	→	回	16	13	15	16	16			
	②	ワークショップ開催回数参加者数	→	人	131	98	130	64	130			
③												
指標の説明	①旧真和中学校内で実施した文化芸術活動の一環として、ワークショップを開催した回数。 ②旧真和中学校内で実施した文化芸術活動の一環として、ワークショップを開催した結果、参加した回数。											
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	感染症対策のため、ワークショップの参加者の募集人数を減らしたため、参加者数が減少したため。一方で、こちらの数値の含めていないが、オンラインイベントを実施、オンラインの参加者数は大幅に増加した。									

2. 事業費の推移												
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度						
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)					
事業費	A	8,061	17,592	4,708	2,126	45.2%	3,737	1,611				
人件費	【正規(人数)】	(0.30)	(0.60)	—	(0.30)		(0.60)	—				
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.20)	—	(0.00)		(0.20)	—				
	人件費 B	B	2,550	5,820	—	2,550		5,820	3,270			
事業費(人件費含む)	C=A+B	10,611	23,412	—	4,676		9,557	4,881				
財源内訳	国、都支出金											
	使用料・手数料	D										
	地方債・その他		3	7,503								
一般財源	E=C-D	10,608	15,909	—	4,676		9,557	4,881				

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識	感染症対策によりワークショップは人数制限をあり、目標達成が難しくなっている。しかし、オンライン等のイベントにも取り組み、各イベントのオンライン視聴者数は合計480人にのぼった。今後も情勢に合わせて、目標を達成していくのが課題である。											
--------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 06

事務事業名	ぞうしがや こどもステーション運営事業（旧としまアートステーション構想）	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	--------------------------------------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	1	1	6
	単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託							
事業を構成する予算事業	①	ぞうしがや こどもステーション運営事業経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）											
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち				政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進					
施策	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備				施策番号	8-1-1		関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			日本の推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市
施策の目標	質の高い文化芸術活動を地域等と連携しながら展開し、豊島区の文化芸術の全体的な質の向上と活性化を図ります。										

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	乳幼児とその家族								
	事業の目的・期待する効果	乳幼児とその家族を対象に、誰もが芸術文化事業を体験・参加できるようにする。								
	事業概要	アート系NPO法人「芸術家と子どもたち」と区が協定を結び、区内各所にて、主に親子・家族向けのアートプログラムを展開する。								
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	アート系NPO法人「芸術家と子どもたち」と区が協働して実施。 住民基本台帳による、区内の0～6歳人口 12,705人（令和4年4月1日現在） https://www.city.toshima.lg.jp/070/kuse/gaiyo/jinko/023949.html									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 区民意識調査	↗	%	40.6	42.5	43	31	35	
		② 事業参加者アンケート	↗	%	—	96.6	100	100	100	
	指標の説明	①協働のまちづくりに関する区民意識調査で、「目指すべき生活環境に対する現在の評価」について、「多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い」（令和3年度からは「文化芸術に触れる機会が多くなった」に設問変更）に「どちらかというとそう思う」と答えた人の割合。 ②ぞうしがや こどもステーション参加者へのアンケートで、「ご家族にとって、良い文化体験になったと思いませんか？」（令和3年度からは「ご家族にとって、今回のプログラムへの参加は有意義なものになりましたか？」に設問変更）に「思った」（令和3年度からは「有意義だった」）と答えた人の割合。								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 令和3年度から設問が変更され、従前が事業の質を評価していたのに対し、事業の量（回数）を問うものに変化したため、回答に変化がみられたと推測される。コロナ禍で文化芸術事業自体の回数が減少したことも要因と考えられる。								
事業の取組実績	活動指標（事業の実施状況）	3年度の取組内容	NPO法人「芸術家と子どもたち」によって、子育て世代を主たる対象として、アートプログラムを提供。 (1)レギュラークラス（うた、即興演奏、ダンス、えほんのプログラム） ①ぞうしがや こどもステーション 参加者320人 ※新型コロナウイルス感染症対策のため2日中止。 ②区民ひろば 参加者156人 ※新型コロナウイルス感染症対策のため1日中止。 (2)スペシャルクラス（えんげきシアター、絵本作家シリーズ、アーティスト合同ワークショップ） 参加者98人 ※新型コロナウイルス感染症対策のため1日中止。 (1)、(2)合計参加者数 574人							
		指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 拠点でのアートプログラム実施数	↗	日間	36	42	42	31	37	
	② アウトリーチでのアートプログラム実施数	↗	日間	10	12	12	7	8		
③ アートプログラム参加者数	↗	人	1172	1000	700	574	600			
指標の説明	①拠点（ぞうしがや こどもステーション）及び、アウトリーチ（区民ひろば）でアートプログラムを提供した日数。 ②アウトリーチ（区民ひろば）でアートプログラムを提供した日数。 ③上記のアートプログラム合計参加者数。									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 感染症対策のため、令和3年度は場所の定員の半分でプログラムを実施したため。緊急事態宣言下では、オンラインに振り替えられるプログラムは振り替えたが、楽器を使うもの等代替不可能なものは中止したため。								

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）
事業費	A	5,971	6,161	6,470	6,230	96.3%	6,070	-160
人件費	【正規（人数）】	(0.20)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.60)	—	(0.60)		(0.60)	—
人件費 B	B	1,700	2,160	—	2,160		2,160	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	7,671	8,321	—	8,390		8,230	-160
財源内訳	国、都支出金	0	0	0	0		0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0		0	0
	地方債・その他	5,920	880	241	241		674	433
一般財源	E=C-D	1,751	7,441	—	8,149		7,556	-593

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

事業の方向性については、今後規模を拡大または実施形態にアレンジを加えるなど工夫を試みる余地があるため、利用者の意見聴取等をもとに検討していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 07

事務事業名	池袋モンパルナス回遊美術館事業経費	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	-------------------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	1	1	7
	単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託							
事業を構成する予算事業	① 池袋モンパルナス回遊美術館事業経費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち				政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進				
施策	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備				施策番号	8-1-1 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	大学やNPO、企業等と連携を図りながら地域における文化芸術活動を牽引、支援するとともに文化の創造・推進を担う人材を育成します。									

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、来街者							
	事業の目的・期待する効果	豊島区固有の文化資源の継承と発展のため、公民連携により、様々な場所で新たな表現活動、芸術に触れる機会を充実させることにより、子どもから大人まで区民の文化創造を推進し、街のにぎわいを創出する。							
	事業概要	「街のどこもが美術館」をコンセプトに、池袋西口から東口にも会場を広げ、子どもから大人まで街中でアートに親しむことができる展示、ワークショップなどを実施。開催時期は例年5月中旬から2週間程度。発起人4団体（NPO法人ゼファー池袋まちづくり、立教大学、東武百貨店、豊島区）が交通事業者、東京芸術劇場、地域団体、ギャラリー、事業所等と連携して実行委員会を組織し、月1回程度の委員会を開催した上で実施。							
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	例年の延べ来場者数：約50,000人[事務局発表による]（第16回は会期が長期分散開催となり、オンライン開催も併用されたため総数の把握困難）								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 延来場者数	↗	人	約50,000人	把握困難	約16,000人	把握困難	約20,000人
		② イベント・講座・ワークショップ・展示会場数	↗	会場	94	52	50	51	50
	③								
指標の説明	①事務局発表の延来場者数 ②実行委員会実施報告書による実施会場数								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 コロナ禍により、19催事が中止となったため							
事業の取組実績	活動指標（事業の実施状況）	3年度の取組内容	◆令和3年5月から令和4年1月まで開催 ◆IAG AWARDS 2021池袋アートギャザリング公募展 ◆まちかどこども美術館 ◆参加団体46 ◆実施会場56 ◆実施催事56(中止19)						
		指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 実行委員会開催回数	→	回	10	11	10	8	10
	② 参加団体数	↗	団体	52	36	50	46	53	
③									
指標の説明	①実行委員会開催回数 ②池袋モンパルナス回遊美術館 参加団体数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 コロナ禍により、参加団体が想定を下回った。							

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 (R3決算比)	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	7,000	7,000	7,000	4,421	63.2%	7,000	2,579	
人件費	【正規(人数)】	(0.20)	(0.20)	—	(0.20)		(0.20)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】			—				—	
人件費 B	B	1,700	1,700	—	1,700		1,700	0	
事業費(人件費含む)	C=A+B	8,700	8,700	—	6,121		8,700	2,579	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
一般財源	E=C-D	8,700	8,700	—	6,121		8,700	2,579	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 コロナ禍のため参加団体の判断により、中止とせざるを得ない催事が1/4となり、達成状況は目標を下回っている。しかしながら、平成17年から、主要な団体、企業、ギャラリー、商店街、交通事業者等が参加、協働しながら取り組む意義は大きい。池袋駅西口から現在は東口にも範囲を拡大し、「池袋アートギャザリング」では、池袋から新たな才能を発掘している。国際アートカルチャーによるまちづくりの推進及び観光資源の発掘と活用に貢献している事業である。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 12

事務事業名	としま区民センター関係経費	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	---------------	------	-------	---------

事業特性													
事業開始年度	元年度		事業終了年度	計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	-	1	-	1	-	3
単独／補助	区単独事業		運営形態	指定管理者									
事業を構成する予算事業	① としま区民センター関係経費			②									

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち			政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進				
施策	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備			施策番号	8-1-1 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	質の高い文化芸術活動を地域等と連携しながら展開し、豊島区の文化芸術の全体的な質の向上と活性化を図ります。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民・来街者							
	事業の目的・期待する効果	としま区民センターは、誰もが主役になれる劇場都市「Hareza池袋」の一角をになっており、区民が主体となった新たな文化を世界に発信する文化創造拠点を目指す。							
	事業概要	性に優しい「トイレ&メイクルーム」や親子で楽しむ「パパママ☆すぽと」和室やキッチンルーム、15室の会議室、小ホールや多目的ホールなど多岐に渡るステージで構成されている。運営は指定管理者であるとしま未来文化財団が行っている。							
基礎データ (事業のための資産 利用者等の情報)	女性に優しい「トイレ&メイクルーム」や親子で楽しむ「パパママ☆すぽと」和室やキッチンルーム、15室の会議室、小ホールや多目的ホールなど多岐に渡るステージで構成されている。運営は指定管理者であるとしま未来文化財団が行っている。								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	①	利用者満足度調査	→	%	94.0	95.6	90.0	95.0	90.0
	②								
	③								
指標の説明	利用者満足度調査において、「施設をご利用になった全体的な満足度はいかがだったか」という設問に対する回答「非常に良い」と「良い」の合計の割合								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)	貸館、貸会議室業務 としま文化の日記念式典等での区利用							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	①	稼働率	↗	%	47.5	43.3	60.0	54.8	60.0
	②	来館者数	↗	人	69,657	86,300	200,000	132,282	200,000
③									
指標の説明									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、施設の稼働率・来館者数が低下したため。また、コロナ禍以外での施設の稼働がなく、適切な目標値を設定できていないため。							

2. 事業費の推移									
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	6,149,417	298,451	398,381	394,125	98.9%	341,157	-52,968	
人件費	【正規(人数)】	(1.00)	(0.50)	—	(0.70)		(0.70)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	8,500	4,250	—	5,950		5,950	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	6,157,917	302,701	—	400,075		347,107	-52,968	
財源内訳	国、都支出金		45,040	12,276	—	42,342		—	-42,342
	使用料・手数料	D		6,184	7,100	7,238	7,100	-138	
	地方債・その他		6,101,931	—	—	—	—	0	
	一般財源	E=C-D	10,946	284,241	—	350,495		340,007	-10,488

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、令和元年度の開館以来利用者数は増加している。コロナの影響を踏まえつつ、事業の再検討を行い、より効果的・効率的な運営をする必要がある。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 16

事務事業名	郷土資料館管理運営経費	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	-------------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	1	2	4
	単独／補助	区単独事業		運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① 郷土資料館管理運営経費 01事業運営経費				② 郷土資料館管理運営経費 02管理運営経費						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち				政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進			
施策	地域文化・伝統文化の継承と発展				施策番号	8-1-2			
施策の目標	区内に存在する芸術作品や文化芸術活動、文化財や郷土資料など様々な文化資源の魅力をわかりやすく伝える工夫を行いながら、地域文化を継承し、未来に向けて普及発展させていきます。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、来街者							
	事業の目的・期待する効果	地域文化・伝統文化を適切に保存し、将来に向けて継承する。それにより郷土に誇りと愛着を持っていただく。							
	事業概要	豊島区に関する貴重な郷土資料を適切に収集・整理・保存するとともに、それらを調査・研究の上で展示、講座等を開催する。また各種刊行物の発行を行い、周知にも努める。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	◆施設名：豊島区立郷土資料館（豊島区西池袋2-37-4 としま産業振興プラザ7階） ◆延床面積：720.16㎡ ◆昭和59年6月一般公開、平成29年10月リニューアルオープン								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 入館者数	↗	人	15,896	16,059	8,750	12,110	12,500
		② 講座・イベント参加者数	↗	人	671	221	207	227	250
		③ 区民意識調査における現在の評価	↗	%	32.7	39	41	33.2	43
	指標の説明	①郷土資料館の入館者数、②郷土資料館で実施した講座・イベント等の参加者数、③区民意識調査の文化に関する生活環境における「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存活用されている」の現在の評価							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	収蔵資料などを大切に保存、活用しているのだが、それが区民の皆様に伝わっていないと考えられる。					
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	◆企画展「葉と折りの処方箋」開催。 ◆収蔵資料展「浮世絵・和本コレクション」開催。 ◆所蔵作品展「生誕120周年小熊秀雄遊歩者のスケッチ」開催。 ◆所蔵作品展「池袋モンパルナスが旅をする」開催。文学・マンガ分野収蔵資料あれこれ―「版画×池袋・雑司が谷編―山高登と版画の世界」開催。 ◆飯能倉庫への収蔵資料の移転。 ◆刊行物（研究紀要、かたりべ）発行							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 収蔵資料・企画展示	→	回	0	3	3	5	2
		② 講座・イベント等	↗	回	4	19	22	16	25
	③ 刊行物・広報誌発行	→	回	5	6	6	4	4	
	指標の説明	①郷土資料館で実施した企画展・収蔵資料展（コーナー展示を含む）の回数、②郷土資料館で実施した講座・イベント等の回数、③郷土資料館の事業等を紹介する広報誌及び刊行物の発行回数							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	飯能倉庫への収蔵資料の移転があり、9/27から1/31までの休館していたため。					

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 （R3決算比）	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	30,711	22,972	24,726	21,849	88.4%	23,180	1,331	
人件費	【正規（人数）】	(2.30)	(2.30)	—	(2.50)		(2.50)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】		(6.20)	—	(5.31)		(5.31)	—	
	人件費 B	B	19,550	41,870	—	40,366		40,366	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	50,261	64,842	—	62,215		63,546	1,331	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料							0	
	地方債・その他		598	537	180	454		270	-184
	一般財源	E=C-D	49,663	64,305	—	61,761		63,276	1,515

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識									
区民意識調査における現在の評価が低下しているが、飯能倉庫への収蔵資料の移転のため約4か月間の休館にもかかわらず、収蔵作品展や企画展が好評のため、入館者数やイベント参加者数は、計画値を上回っている。									

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 17

事務事業名	雑司が谷旧宣教師館の保存・活用経費	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	-------------------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	1	2	5
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営							
事業を構成する予算事業	①	雑司が谷旧宣教師館の保存・活用経費			②						
	③				④						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち			政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進				
施策	地域文化・伝統文化の継承と発展			施策番号	8-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本への推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市			
施策の目標	区内に存在する芸術作品や文化芸術活動、文化財や郷土資料など様々な文化資源の魅力をわかりやすく伝える工夫を行いながら、地域文化を継承し、未来に向けて普及発展させていきます。								

1. 事業の概要											
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、来街者									
	事業の目的・期待する効果	有形文化財（建造物）を適切に保存し、地域文化・伝統文化への理解を深めるなど、区民の文化的向上に資する。									
	事業概要	東京都指定有形文化財（平成11年3月3日指定）である雑司が谷旧宣教師館を保存・維持管理するとともに、毎月のおばあちゃんのおはなし会、ギャラリートーク、ワークショップ等の事業を実施し、施設の周知及び活用する。									
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	◆施設名：豊島区立雑司が谷旧宣教師館（東京都指定有形文化財 旧マッケーレブ邸） ◆所在地：雑司が谷1-25-5、◆敷地面積：952.97㎡、◆建物面積：212.97㎡ ◆平成元年1月一般公開										
事業目標の達成状況	指標				目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	成果指標 （事業目標の達成度）	① 入館者数	↑	人	14,441	3,674	12,000	8,129	12,000		
		② 講座・イベント参加者数	↑	人	178	95	140	99	150		
		③ 区民意識調査における現在の評価	↑	%	32.7	39	41	33.2	43		
指標の説明	①雑司が谷旧宣教師館の入館者数、②講座・イベント事業の参加者数 ③区民意識調査の文化に関する生活環境における「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存活用されている」の現在の評価										
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナ禍により、団体見学が減少し、例年のスプリング・オータムコンサートを中止したため。								
事業の取組実績	3年度の取組内容 ◆赤い鳥を語り継ぎ、歌い継ぐ 童話童謡の世界 開催 ◆おばあちゃんのお話会 7回 ◆ギャラリートーク 9回 ◆刊行物：雑司が谷旧宣教師館だより 1回発行										
	指標				目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	活動指標 （事業の実施状況）	① イベント実施回数	↑	回	10	6	20	17	20		
		② 雑司が谷旧宣教師館だより発行	→	回	2	2	2	1	2		
③											
指標の説明	①イベント事業回数 ②雑司が谷旧宣教師館で実施した事業等を紹介する広報誌の発行回数										
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	おばあちゃんのお話会は、語り手が高齢のため、体調不良のため中止となることもある。								

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)		
事業費	A	7,930	6,294	6,960	6,163	88.5%	6,959	796	
人件費	【正規（人数）】	(0.20)	(0.20)	—	(0.20)		(0.20)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】		(3.03)	—	(3.69)		(3.69)	—	
	人件費 B	B	1,700	12,608	—	14,984		14,984	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	9,630	18,902	—	21,147		21,943	796	
財源内訳	国、都支出金								0
	使用料・手数料	D	20	26	20	26		20	-6
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	9,610	18,876	—	21,121		21,923	802	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 コロナ禍により、団体見学が減少。館でも感染防止のため、例年のスプリング・オータムコンサートを中止したことにより入館者数が想定を下回った。このような状況下でも、感染防止対策をとりながら、小規模イベントを積み重ねて入館者増を図る。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 19

事務事業名	収蔵作品資料展示・管理経費	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	---------------	------	-------	---------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① 収蔵作品資料展示・管理経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち				政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進				
施策	地域文化・伝統文化の継承と発展				施策番号	8-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本の推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市			
施策の目標	区内に存在する芸術作品や文化芸術活動、文化財や郷土資料など様々な文化資源の魅力をわかりやすく伝える工夫を行いながら、地域文化を継承し、未来に向けて普及発展させていきます。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、来街者								
	事業の目的・期待する効果	本区の貴重な文化資源である、池袋モンパルナス関連作家を中心とした美術作品および区ゆかりの文学・マンガ資料を適切に収集・管理するとともに、展示・講座等を通して広く区民等に公開・活用していく。								
	事業概要	美術作品および文学・マンガ資料の収集、保管、修復、撮影、映像制作、収蔵作品資料展・講座の開催								
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	◇所蔵点数 美術作品 887点、文学・マンガ資料 10,557点（令和3年度） ◇郷土資料館年間入館者数 12,110名（令和3年度）									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 区民意識調査による評価	↗	%	33	39	41	33.2	43	
		②								
	③									
指標の説明	①区民意識調査の①文化の「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について肯定的な回答をする区民の割合。									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 収蔵資料の飯能庫移転に伴う休館が長期にわたったため(9月27日～1月31日)・所蔵作品収蔵資料展のPRが不十分だったため。								
事業の取組実績	3年度の取組内容	◇図書・資料の購入 307点(美術52点、文学・マンガ255点) ◇作品資料の修復 6点(美術3点、文学・マンガ3点) ◇作品資料の撮影、映像資料制作 5回(美術2回、文学・マンガ3回) ◇所蔵作品資料展の開催 3回(美術2回、文学・マンガ1回) ◇豊島ミュージアム講座の開催 4回 参加者71名 ◇民間収蔵庫の借上げ 北倉庫(北区)13室、三井倉庫(江東区)1室								
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
	① 作品資料の修復点数	→	点	2	2	3	6	3		
	② 所蔵作品資料展の開催数	→	回	0	1	2	3	2		
③ 収蔵展関連事業、講座の開催数	↗	回	0	4	6	11	12			
指標の説明	①美術作品、文学・マンガ資料の撮影、映像制作の回数 ②美術、文学・マンガ分野の所蔵作品資料展の開催数 ③所蔵作品・資料展関連事業(ギャラリートーク、ワークショップ等)、豊島ミュージアム講座の開催数									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		元年度	2年度	3年度		4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)
事業費	A	21,471	20,468	28,705	19,980	69.6%	28,040	8,060
人件費	【正規(人数)】	(2.00)	(2.00)	—	(0.99)		(0.45)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(1.46)		(0.99)	—
	人件費B	B	17,000	17,000	—	13,671		7,403
事業費(人件費含む)	C=A+B	38,471	37,468	—	33,651		35,443	1,792
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他		1,006	8,330	8,330	1,167		8,000
一般財源	E=C-D	37,465	29,138	—	32,484		27,443	-5,041

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識 ・令和2年度の(仮称)芸術文化資料館計画の見直しに伴い、令和3年度に(仮称)芸術文化資料館開設準備事業経費と美術作品等展示・管理経費を統合。 ・これまで収集してきた作品資料は適切に保存管理するとともに、所蔵作品資料展、関連事業、講座を通して公開・活用に取り組んでいる。引き続き他機関との連携や区ホームページ・館だより等を通して積極的に情報発信していく。 ・令和4年度は区制90周年記念事業として年間を通じて3分野連携の企画展、特別展を開催する。
--

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 20

事務事業名	豊島区収蔵作品等3分野企画展事業経費	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	--------------------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	30年度	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	1	2	8
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営							
事業を構成する予算事業	① 豊島区収蔵作品等3分野企画展事業経費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち				政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進				
施策	地域文化・伝統文化の継承と発展				施策番号	8-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市			
施策の目標	区内に存在する芸術作品や文化芸術活動、文化財や郷土資料など様々な文化資源の魅力をわかりやすく伝える工夫を行いながら、地域文化を継承し、未来に向けて普及発展させていきます。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、来街者									
	事業の目的・期待する効果	郷土資料、美術、文学・マンガの3分野の収蔵作品資料や調査研究の成果を、企画展や関連事業を通して広く区民等に公開・活用し、地域の歴史・文化への理解を深めるとともに、その継承と発展に寄与する。									
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・3分野の企画展の開催 ・講演会、講座、ギャラリートーク等の関連事業の実施。 ・ポスター・チラシ・図録等の発行、オリジナルグッズの制作。 									
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	◇豊島区総人口 283,342人（令和4年1月1日現在住民基本台帳登録者数） ◇郷土資料館年間入館者数 12,110名（令和3年度）										
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）		
		① 区民意識調査による評価	↗	%	33	39	41	33.2	43		
		②									
	指標の説明	①区民意識調査の④文化の「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について肯定的な回答をする区民の割合。									
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由		企画展のPRが不十分だったため。						
事業の取組実績	3年度内の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆郷土分野企画展「薬と祈りの処方箋」 ・概要：伝統医療をテーマに豊島区域の近世から近代にかけての事跡を中心に本草学や祈りに関する地域資料100点余を通して概観した。 ・会期：令和3年7月20日～9月26日 ・来館者：5,869名 ・印刷物：ポスター400枚、チラシ10,000枚、図録700部（1冊1,200円）、グッズ：マスクケース500枚（1枚300円）、記念品：缶バッジ500個 ・イベント：記念講演会1回（53名）、連続講座3回（37名）、ギャラリートーク2回（19名） ・古代オリエント博物館とのコラボ企画：スタンプツアー、ワークショップ2回 									
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）		
		① 企画展・関連事業開催数	↗	回	6	11	7	10	14		
		② 企画展来場数	↗	人	5,015	6,278	5,500	5,869	11,000		
		③ 企画展関連事業参加者数	↗	人	256	55	80	109	160		
	指標の説明	①企画展・関連事業（講演会、ギャラリートーク、見学会、ワークショップ等）の開催数 ②企画展見学者数 ③企画展関連事業参加者数									
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	3,456	5,645	6,091	5,699	93.6%	7,059	1,360
人件費	【正規（人数）】	(0.36)	(0.69)	—	(0.64)		(1.50)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(1.31)	(0.79)	—	(1.97)		(1.98)	—
	人件費 B	B	7,776	8,709	—	12,532		19,878
事業費（人件費含む）	C=A+B	11,232	14,354	—	18,231		26,937	8,706
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
	一般財源	E=C-D	11,232	14,354	—	18,231		26,937

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識	・令和2年度の東京芸術劇場との共催（2会場）に比べ、令和3年度は単独開催で来場者数はやや伸び悩んだが、古代オリエント博物館とのコラボ企画は好評で来館者層の拡大に結びついた。引き続き他機関との連携など情報発信に努めていく。 ・区の歴史・文化への理解を深め、区の魅力を内外に広く発信するため、企画展や所蔵作品資料展を継続的に開催し、区の文化資源を積極的に公開・活用していく必要がある。令和4年度は区制90周年記念事業として年間を通じて3分野連携の企画展と特別展を開催する。									
--------------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0501 - 23

事務事業名	庁舎まるごとミュージアム運営事業	担当組織	文化商工部	文化デザイン課
-------	------------------	------	-------	---------

事業特性				
事業開始年度	27年度	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 庁舎まるごとミュージアム運営事業経費			②
計画事業No.	8	-	1	-
			4	-
				2

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進	
施策	アート・カルチャーによる魅力の発信【重点】	施策番号	8-1-4	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本への推進力の一翼を担う国際アート・カルチャー都市
施策の目標	文化を媒体として、世界に豊島区の魅力をアピールし、バーチャルだけでなくリアルに世界とつながり、新たな文化潮流を常に発信し続ける魅力と活力にあふれた都市像を発信していきます。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	区民、来庁者							
	事業の目的・期待する効果	豊島区庁舎そのものが「文化発信拠点」のランドマークとして存在感を発揮し、豊島区が国際アート・カルチャー都市として東京都の大きな文化発信拠点としても大きく貢献できるようにする。							
	事業概要	本庁舎をまるごと「ミュージアム美術館・博物館」に見立て、3階から9階の通路部分の壁面を使用した展示。また、センタースクエアを活用し、連携した展示等を行い、区の文化資産の紹介や区の重点施策等の情報をわかりやすくタイムリーに掲示して、区民・来庁者に発信する。							
基礎データ (事業のための資産 利用者等の情報)	3階から9階の通路部分壁面、及び展示ケース等…展示スペース								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 目標(計画)	3年度 (実績)	4年度 (計画値)
		① 展示作品数	→	点	2514	1726	900	2197	900
		②							
		③							
	指標の説明	関係各課、関連事業団による展示テーマ数							
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						
事業の取組実績	3年度の取組内容	(1) 庁舎まるごとミュージアムの維持・管理 (2) 展示計画に即した各フロアの展示作品入替え・3階～9階において、豊島区16課と関連事業団3団体で総数67テーマ・約2197作品を展示。 (3) 郷土資料館・ミュージアム関連展示の再開 (4) 規約制定 (5) 収蔵庫整備 (6) 名画ナビゲーション「豊島区ナビ」のコロナ対応策として、動画放映活用実施							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 目標(計画)	3年度 (実績)	4年度 (計画値)
		① 総合展示事業数	→	企画	41	54	54	67	50
		②							
	③								
	指標の説明	庁舎まるごとミュージアムに展示した作品数							
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						

2. 事業費の推移								
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	1,680	2,373	3,263	2,538	77.8%	2,056	-482
人件費	【正規(人数)】	(0.10)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(1.00)	—	(0.10)		(0.10)	—
	人件費 B	B	850	3,600	—	360		360
事業費(人件費含む)	C=A+B	2,530	5,973	—	2,898		2,416	-482
財源内訳	国、都支出金	0	0	0	0		0	0
	使用料・手数料	D	0	0	0		0	0
	地方債・その他	0	0	0	0		0	0
	一般財源	E=C-D	2,530	5,973	—	2,898		2,416

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
展示計画に即した各フロアの展示作品入替え・3階～9階において、豊島区16課と関連事業団3団体で総数67テーマ・約2197作品を展示。今後もまるごとミュージアムを利用し、文化発信を行う。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 04

事務事業名	商工政策審議会関係事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	-------------	------	-------	-------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	①	商工政策審議会関係経費			②					

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち				政策	産業振興による都市活力創出			
施策	新たなビジネス展開の支援【重点】				施策番号	7-1-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本の推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市		
施策の目標	事業者の経営基盤を強化するため、としまビジネスサポートセンターのコンサルティング機能の充実を図ります。								

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区内中小企業者等							
	事業の目的・期待する効果	産業振興指針を策定し、事業者の経営課題やニーズに対し適切な施策を実施し、事業者の経営環境を改善する。							
	事業概要	①豊島区商工振興条例に規定されている「商工政策審議会」を開催し、豊島区産業振興指針の策定・推進及び商工政策に関するものを審議する。 ②区内中小企業の業種別景気動向を把握するため景況調査を行う。調査、分析を調査機関に委託し、定期的に報告会を開催、産業ニュース等への掲載により、区内事業者への周知を図る。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	商工政策審議会（平成21年12月設置） 会長1名、委員14名（任期：令和元年11月～令和3年11月） 区内事業所数18,703件（R3経済センサス活動調査速報値より）								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている」について、肯定的な回答をする区民の割合	↗	%	6.5	6.9			
		② 「経営に関する相談体制や支援が充実し、経済活動が活発である」について、肯定的な回答をする区民の割合	↗	%			9.0	9.0	10.0
	③								
指標の説明	①②「協働のまちづくりに関する区民意識調査」による（3年度より設問変更） 商工政策の推進状況を図る指標								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○豊島区商工政策審議会の開催：2回 ○景況調査の実施：四半期ごとの調査、景況報告会の開催（2回） 							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 審議会開催回数	→	回	1	1	2	2	3
		②							
③									
指標の説明	①豊島区商工政策審議会の開催回数（4年度は指針改訂年のため平常時より回数増の予定）								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 （R3決算比）
事業費	A	2,255	3,100	2,789	2,525	90.5%	7,933	5,408
人件費	【正規（人数）】	(0.40)	(0.50)	—	(0.60)		(0.60)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	3,400	4,250	—	5,100		5,100
事業費（人件費含む）	C=A+B	5,655	7,350	—	7,625		13,033	5,408
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0
	地方債・その他		0	0	0	0	0	0
	一般財源	E=C-D	5,655	7,350	—	7,625		13,033

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

豊島区の商工振興施策の推進について定期的に審議を行い、持続的な地域経済の活性化及び活力ある地域社会の発展に努めていく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 06

事務事業名	中小企業支援事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	----------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① としまビジネスサポート経費 中小企業支援経費			②
計画事業No.	7	-	1	-
	1	-	1	-
				3

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち	政策	産業振興による都市活力創出	
施策	新たなビジネス展開の支援【重点】	施策番号	7-1-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本への推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市
施策の目標	事業者の経営基盤を強化するため、としまビジネスサポートセンターのコンサルティング機能の充実を図ります。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区内中小企業者、起業・創業者等							
	事業の目的・期待する効果	中小企業者、起業・創業者等の販路拡大や経営基盤強化を支援し、企業経営の安定化を図る。							
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 東京都中小企業振興公社と連携し、中小企業者の経営課題を解決するため、適切な助言を行える専門家を派遣する費用の一部を補助する。 事業者の販路拡大を支援するため、宣伝・広報に係る費用の一部を補助する。 新型コロナウイルス感染症の対策に伴う費用の一部補助や、各種支援策の申請支援を行政書士会豊島支部と連携して行う。 							
基礎データ（事業のための資産、利用者等の情報）	・区内事業所数18,703件（R3経済センサス活動調査速報値より）								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 専門家派遣事業の補助金額	→	円	1,490	1,300	1,600	740	1,600
		② 見本市出展支援事業の補助金額	→	円	3,340	1,949	5,000	3,503	5,000
		③ ホームページ作成支援事業の補助金額	→	円	1,339	1,752	2,900	1,514	2,900
	指標の説明	①専門家派遣事業補助金の交付金額 ②見本市等出展支援事業補助金の交付金額 ③ホームページ作成支援事業補助金の交付金額							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 既存補助金①～③については、新型コロナウイルスの影響を受け実績が減少したものの、コロナ対策補助金の利用者が多く、中小企業支援という本来の目的は果たせたため。							
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①専門家派遣事業補助金：専門家派遣（1回あたり）謝礼23,100円のうち東京都中小企業振興公社が11,750円、豊島区が10,000円を補助 ②見本市等出展支援事業補助金：補助対象経費の1/2以内で上限額10万円 ③ホームページ作成支援事業補助金：補助対象経費の1/2以内で上限額5万円 ④新型コロナウイルス感染症対策事業者申請支援事業補助金：1契約あたり25,000円を区から行政書士会豊島支部へ支払うため、利用者は実質無料 ⑤新型コロナウイルス感染防止対策費用補助金【令和2年度新設】：補助対象経費の4/5以内、上限額10万円 							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 専門家派遣事業の補助件数	→	件	20	17	20	10	20
		② 見本市出展支援事業の補助件数	→	件	39	20	50	39	50
		③ ホームページ作成支援事業の補助件数	→	件	28	38	58	31	58
指標の説明	①専門家派遣事業補助金の交付件数 ②見本市等出展支援事業補助金の交付件数 ③ホームページ作成支援事業補助金の交付件数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 既存補助金①～③については、新型コロナウイルスの影響を受け実績が減少したものの、コロナ対策補助金④⑤の利用者が多く、中小企業支援という本来の目的は果たせたため。							

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	6,169	60,746	169,500	153,425	90.5%	9,500	-143,925	
人件費	【正規（人数）】	(0.70)	(1.10)	—	(1.40)		(1.40)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.10)	(2.00)	—	(2.00)		(2.00)	—	
	人件費 B	B	6,310	16,550	—	19,100		19,100	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	12,479	77,296	—	172,525		28,600	-143,925	
財源内訳	国、都支出金		2,339	52,126	0	139,726		3,950	-135,776
	使用料・手数料	D	0	0	0	0		0	0
	地方債・その他		0	0	0	0		0	0
	一般財源	E=C-D	10,140	25,170	—	32,799		24,650	-8,149

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞は、本補助金事業の実績にも影響を与えている。今後もウィズコロナを見据えた新たな分野での補助金制度を創設するなど、中小企業の経営基盤強化に向けて引き続き支援を行っていく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 09

事務事業名	就業支援事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	--------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.				
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営							
事業を構成する予算事業	① 就業支援事業経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち			政策	産業振興による都市活力創出				
施策	地域産業の活性化			施策番号	7-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本の推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市			
施策の目標	商店街活性化のため、装飾街路灯等の施設整備、ITを活用した販売促進、空き店舗対策、イベントなど、商店街が行う様々な取組みを支援します。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	求職者及び求人事業所							
	事業の目的・期待する効果	勤労意欲を持つ求職者が雇用機会を得ると共に、区内中小企業等が安定的に人材を確保する。							
	事業概要	ハローワーク池袋や東京しごと財団、関係団体、庁内関係部署等と連携し、就職面接会やセミナーを開催するとともに、適切な相談窓口を案内する。							
基礎データ (事業のための資産利用者等の情報)	ハローワーク池袋取扱分(令和4年3月分) ○有効求人数:一般常用求人数13,776人 パート常用求人数6,395人 ○有効求職者数:一般常用求職者数16,488人 パート常用求人数7,330人								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	① 事業所面接会における就職決定者数(ハローワーク等共催)	→	人	31	6	6	4	10	
	②								
	③								
指標の説明	①ハローワーク等との共催による就職面接会を通して就職した者の数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、面接会の開催中止が相次いだことによる。						
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)	【ハローワーク池袋・東京しごと財団・近隣区との連携事業】 (1)就職面接会 計1回(参加企業11社、参加求職者28人、求人件数17件、就職者4人) (2)セミナー等 計4回(参加者108人)							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	① セミナー開催数(共催事業)	→	回	2	2	3	3	3	
	② 面接会開催数(共催事業)	→	回	5	1	1	1	2	
	③								
指標の説明	①ハローワーク等との共催による求職者向けセミナーの実施回数 ②ハローワーク等との共催による就職面接会の実施回数								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移									
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)		
事業費	A	72	0	419	97	23.2%	419	322	
人件費	【正規(人数)】	(0.20)	(0.30)	—	(0.30)		(0.30)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.10)	(0.10)	—	(0.10)		(0.10)	—	
	人件費 B	B	2,060	2,910	—	2,910		2,910	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	2,132	2,910	—	3,007		3,329	322	
財源内訳	国、都支出金	0	0	0	0		0	0	
	使用料・手数料	D	0	0	0		0	0	
	地方債・その他	0	0	0	0		0	0	
	一般財源	E=C-D	2,132	2,910	—	3,007		3,329	322

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナウイルス感染症拡大により、会場での面接会・セミナーが中止されるなど事業運営に影響があった。しかしながら、引き続き求職者のニーズは高いことから、関係団体や近隣区と連携した事業展開を強化していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 10

事務事業名	中規模小売店舗立地調整審議会	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	----------------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.				
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営							
事業を構成する予算事業	① 豊島区中規模小売店舗立地調整審議会運営経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち			政策	産業振興による都市活力創出				
施策	地域産業の活性化			施策番号	7-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標	商店街活性化のため、装飾街路灯等の施設整備、ITを活用した販売促進、空き店舗対策、イベントなど、商店街が行う様々な取組みを支援します。								

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	中規模小売店舗の近隣住民								
	事業の目的・期待する効果	中規模小売店舗近隣住民の良好な生活環境の保持及び小売業と地域社会の健全な発展に寄与する。								
	事業概要	豊島区中規模小売店舗の立地調整に関する条例に基づき、必要に応じ豊島区中規模小売店舗立地調整審議会を開催し、近隣住民の良好な生活環境の保持を図る。								
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	近隣住民とは、中規模小売店舗の敷地境界線から500メートルの水平距離の範囲内において、住所を有するも者、事業を営む者、事業所に勤務する者及び学校に在学する者。									
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）	
		① 審議会開催数	→	回	0	0	0	0	0	
		②								
		③								
	指標の説明	①中規模小売店舗の新設等による影響を把握することなどを目的に開催する審議会の開催回数								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	中規模小売店舗等の変更・新設申請受付								
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）	
		① 中規模小売店舗等の変更等申請件数	→		6	0	2	2	3	
		②								
	③									
	指標の説明	①中規模小売店舗等の変更・新設の申請件数								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	0	0	70	0	0.0%	70	70
人件費	【正規(人数)】	(0.27)	(0.27)	—	(0.27)		(0.27)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	2,295	2,295	—	2,295		2,295
事業費(人件費含む)	C=A+B	2,295	2,295	—	2,295		2,365	70
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	2,295	2,295	—	2,295		2,365	70

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 大規模小売店舗立地法の対象とならない、店舗面積が500～1,000㎡の中規模小売店舗の出店等に対して、条例により必要に応じて審議会を開催するものである。昨年度実績は、閉店によるものであり、審議会の開催に至らなかったが、事業者の出店動向等を注視しながら、事業を進めていく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 14

事務事業名	商店街施設整備支援事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	-------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 商店街施設整備事業支援経費		②	計画事業No. 7 - 1 - 2 - 2

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち	政策	産業振興による都市活力創出	
施策	地域産業の活性化	施策番号	7-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	商店街活性化のため、装飾街路灯等の施設整備、ITを活用した販売促進、空き店舗対策、イベントなど、商店街が行う様々な取組みを支援します。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	商店街等								
	事業の目的・期待する効果	商店街の活性化と安全・安心で快適なまちづくりを推進する。								
	事業概要	豊島区商店街振興事業費補助金交付要綱に基づき、商店街等が実施した街路灯やアーチの改修等の施設整備事業に対し、当該事業に要した経費の一部を補助する。								
基礎データ (事業のための資産利用者等の情報)	区内の登録商店会数は87(令和4年3月31日現在)									
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
	① 登録商店会数	→	商店会	88	87	87	87	87		
	②									
	③									
指標の説明	①区の商店会台帳に登録されている商店会の年度末時点の数									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
事業の取組実績	3年度の取組内容	商店街施設整備事業(6事業)に補助金を交付した。 ・LED街路灯の設置事業 ・街路灯改修工事 ・LED街路灯頭部改装事業 ・街路灯修繕工事 ・装飾街路灯等塗装工事事業 ・街路灯緊急撤去工事								
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
	① 補助事業数	→	件	4	3	5	6	5		
	②									
③										
指標の説明	①商店街等が実施した施設整備事業に対する補助件数									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	1,744	30,518	39,401	24,762	62.8%	20,105	-4,657
人件費	【正規(人数)】	(0.30)	(0.20)	—	(0.44)		(0.44)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.10)	(0.12)	—	(0.08)		(0.08)	—
	人件費 B	B	2,910	2,132	—	4,028		4,028
事業費(人件費含む)	C=A+B	4,654	32,650	—	28,790		24,133	-4,657
財源内訳	国、都支出金		833	15,259	12,307		10,051	-2,256
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
	一般財源	E=C-D	3,821	17,391	—	16,483		14,082

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 商店街が安心・安全に、快適に利用されるよう、街路灯等を整備することは重要なことである。限度額が2,000万円と高額なため、実施申請商店街や整備内容などについて、事前把握に努める。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 16

事務事業名	商店街イベント支援事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	-------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 商店街イベント事業支援経費		②	計画事業No. 7 - 1 - 2 - 4

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち	政策	産業振興による都市活力創出	
施策	地域産業の活性化	施策番号	7-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	商店街活性化のため、装飾街路灯等の施設整備、ITを活用した販売促進、空き店舗対策、イベントなど、商店街が行う様々な取組みを支援します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	商店街等							
	事業の目的・期待する効果	商店街のにぎわいや活力の創出と地域コミュニティを強化する。							
	事業概要	豊島区商店街振興事業費補助金交付要綱に基づき、商店街等が実施したイベント事業に対し、当該事業に要した経費の一部を補助する。							
基礎データ <small>（事業のための資産利用者等の情報）</small>	区内の登録商店会数は87（令和4年3月31日現在）								
事業目標の達成状況	成果指標 <small>（事業目標の達成度）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① イベント来場者数	↗	人	1,319,130	1,139,700	1,140,000	886,500	1,000,000
		②							
		③							
	指標の説明	①商店街イベント来場者の延べ人数							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルスの影響により、中止したイベントが多かったため。					
事業の取組実績	3年度の取組内容 <small>（3年度に実施した具体的な業務内容）</small>	商店街イベント事業に補助金を交付した。 交付実績24商店街、29事業、（延37件）							
	活動指標 <small>（事業の実施状況）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 補助事業数	→	件	59	27	45	29	54
		②							
	③								
	指標の説明	①商店街等が実施したイベント事業に対する補助件数							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルスの影響により、中止したイベントが多かったため。					

2. 事業費の推移									
単位 <small>（金額の項目：千円） 人数の項目：人）</small>		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	44,569	18,508	50,007	19,545	39.1%	50,298	30,753	
人件費	【正規(人数)】	(1.30)	(1.41)	—	(1.49)		(1.49)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.30)	(0.80)	—	(0.92)		(0.92)	—	
	人件費 B	B	12,130	14,865	—	15,977		15,977	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	56,699	33,373	—	35,522		66,275	30,753	
財源内訳	国、都支出金		25,671	10,234		11,289		27,963	16,674
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
	一般財源	E=C-D	31,028	23,139	—	24,233		38,312	14,079

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 コロナ禍の中で、開始予定を急遽中止決定した商店街も少なからず存在しているが、商店街のにぎわい創出や活性化には、イベントは欠かせない要素の一つである。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 18

事務事業名	空き店舗対策支援事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	------------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前		事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業		運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① 空き店舗対策事業支援経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち			政策	産業振興による都市活力創出				
施策	地域産業の活性化			施策番号	7-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標	商店街活性化のため、装飾街路灯等の施設整備、ITを活用した販売促進、空き店舗対策、イベントなど、商店街が行う様々な取組みを支援します。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	商店街等							
	事業の目的・期待する効果	商店街のにぎわいや活力の創出と地域コミュニティを強化する。							
	事業概要	豊島区商店街振興事業費補助金交付要綱に基づき、商店街等が実施した空き店舗事業に対し、当該事業に要した経費の一部を補助する。							
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	区内の登録商店会数は87（令和4年3月31日現在）								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 登録商店会数		→	商店会	88	87	87	87	87
	②								
	③								
指標の説明	①区の商店会台帳に登録されている商店会の年度末時点の数								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	3年度に実施した具体的な業務内容							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 補助事業数		→	件	0	0	0	0	0
	②								
③									
指標の説明	①商店街等が実施した空き店舗事業に対する補助件数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 空き店舗対策事業を実施する商店会がなかった							

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	0	0	10	0	0.0%	10	10	
人件費	【正規（人数）】	(0.13)	(0.13)	—	(0.13)		(0.13)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.03)	(0.03)	—	(0.03)		(0.03)	—	
	人件費 B	B	1,213	1,213	—	1,213	1,213	0	
事業費（人件費含む）	C=A+B	1,213	1,213	—	1,213		1,223	10	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
一般財源	E=C-D	1,213	1,213	—	1,213		1,223	10	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 東京都の補助事業となっているが、家主との調整の不調や出店したい商店街が限定されるなどの課題もあり、近年実績はない。今後、商店街に向けて他自治体の成功例の周知を図り、各個店が魅力ある店づくりに挑戦し、商店街が一丸となってにぎわいを創出するよう、支援していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 19

事務事業名	商店街振興助成事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	-----------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.				
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営							
事業を構成する予算事業	① 商店街振興助成経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち			政策	産業振興による都市活力創出				
施策	地域産業の活性化			施策番号	7-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標	商店街活性化のため、装飾街路灯等の施設整備、ITを活用した販売促進、空き店舗対策、イベントなど、商店街が行う様々な取組みを支援します。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	商店街等							
	事業の目的・期待する効果	商店街振興を支援することにより、区内産業の健全な発展につなげる。							
	事業概要	商店街連合会や商店街振興組合連合会が実施する各種商店街振興事業に対し、当該事業に要した経費の一部を補助する。また、商店街活性化イベントに分担金を交付する。その他、商店街振興事業に要する経費を支出する。							
基礎データ <small>（事業のための資産利用者等の情報）</small>	区内の登録商店会数は87（令和4年3月31日現在）								
事業目標の達成状況	成果指標 <small>（事業目標の達成度）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 登録商店会数	→	商店会	88	87	87	87	87	
	②								
	③								
指標の説明	①区の商店会台帳に登録されている商店会の年度末時点の数								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容 <small>（3年度に実施した具体的な業務内容）</small>	補助金交付 商店街振興組合連合会事務局運営経費、区内共通商品券発行事業、商人まつり事業、商店街販売促進事業、商業育成事業等 ※他に消耗品購入、郵券購入、商店街分布図作成							
	活動指標 <small>（事業の実施状況）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 商人まつり開催数	→	回	5	0	6	1	6	
	② 商店街活性化イベント開催数	→	回	1	0	1	0	1	
	③								
指標の説明	①商店街連合会が開催した商人まつり開催数 ②商店街活性化イベント開催数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 コロナの影響により、予定通りに開催できなかった。							

2. 事業費の推移									
単位 <small>（金額の項目：千円 人数の項目：人）</small>		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 <small>（R3決算比）</small>	
事業費	A	33,671	22,979	44,593	25,717	57.7%	43,376	17,659	
人件費	【正規（人数）】	(0.74)	(0.74)	—	(0.74)		(0.74)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.40)	(0.40)	—	(0.40)		(0.40)	—	
	人件費 B	B	7,730	7,730	—	7,730		7,730	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	41,401	30,709	—	33,447		51,106	17,659	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
	一般財源	E=C-D	41,401	30,709	—	33,447		51,106	17,659

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナウイルス感染症の影響で、商人まつり・イベントが中止となったが、商店街のにぎわい創出や活性化には、イベントは欠かせない要素の一つである。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 21

事務事業名	商店街プレミアム付商品券事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	----------------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	3年度		事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業		運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① 商店街キャッシュレス決済ポイント還元事業経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）						
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち			政策	産業振興による都市活力創出	
施策	地域産業の活性化			施策番号	7-1-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標	
施策の目標	商店街活性化のため、裝飾街路灯等の施設整備、ITを活用した販売促進、空き店舗対策、イベントなど、商店街が行う様々な取組みを支援します。					

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区内在住・在勤者、区内商品券取扱店舗							
	事業の目的・期待する効果	区民の利便性向上と区内商店会の振興を図り、もって中小商業の経営安定と発展、地域経済の活性化に寄与する。							
	事業概要	25%プレミアム付商品券（デジタル・紙）を、区内在住・在勤者を対象に販売し、登録店舗で利用する事業に対し、係る経費を事業主体である豊島区商店街連合会に補助する。							
基礎データ （事業のための資産利用者等の情報）	デジタル商品券利用者数:9,901人 紙商品券購入者数:1,456人 登録店舗数:725店舗								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 商品券換金額	→	千円	0	0	430,300	426,992	0
		②							
		③							
	指標の説明	①デジタル・紙商品券の換金合計額							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 購入したが使用されなかった分と使用されたが換金されなかった分があるため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	デジタルと紙のプレミアム付商品券発行							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 商品券発行額	→	千円	0	0	430,300	430,300	0
		②							
	③								
	指標の説明	①デジタル・紙商品券の発行合計額							
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	0	0	128,677	1,286,777	1,000.0%	0	-1,286,777	
人件費	【正規(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.55)		(0.00)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.05)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	0	0	—	4,855	0	-4,855	
事業費(人件費含む)	C=A+B	0	0	—	1,291,632		0	-1,291,632	
財源内訳	国、都支出金				44,351			-44,351	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
	一般財源	E=C-D	0	0	—	1,247,281		0	-1,247,281

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

コロナ禍の中、区内商店街をはじめとする事業者支援及び区民の生活応援に、一定の消費喚起をすることができた。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 22

事務事業名	ファーマーズマーケット事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	---------------	------	-------	-------

事業特性										
	事業開始年度	3年度		事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.		
	単独／補助	区単独事業		運営形態	直営					
事業を構成する予算事業	① ファーマーズマーケット事業経費					②				

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち				政策	産業振興による都市活力創出			
施策	地域産業の活性化				施策番号	7-1-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標	商店街活性化のため、装飾街路灯等の施設整備、ITを活用した販売促進、空き店舗対策、イベントなど、商店街が行う様々な取組みを支援します。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、ファーマーズマーケット利用者、ファーマーズマーケット出店者							
	事業の目的・期待する効果	区民、地元の商店街、生産者、交流都市とのつながりを生むマーケットを目指す。							
	事業概要	としまどりの防災公園（イケ・サンパーク）において、毎週土・日曜日にファーマーズマーケットを開催し、生産者と消費者がつながる場、新たな発見や出会いがうまれる豊島区の新たな台所として事業展開していく。							
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	令和3年度ファーマーズマーケット開催日数：18日								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① ファーマーズマーケット出店数	↗	店	0	0	2,500	305	3,000
		②							
		③							
	指標の説明	①ファーマーズマーケットに出店した店舗数							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルスの影響により開催休止期間があったため。					
事業の取組実績	3年度の取組内容	埼玉県産の農産物、区内商店の名品、交流都市の逸品等を販売。 開催状況：18回開催（10月2回、11月8回、12月6回、1月2回）							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① ファーマーズマーケット開催日数	→	日	0	0	100	18	100
		②							
	③								
	指標の説明	①ファーマーズマーケットを開催した日数							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルスの影響により開催休止期間があったため。					

2. 事業費の推移									
単位 〔金額の項目：千円〕 〔人数の項目：人〕		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	0	0	70,000	35,517	50.7%	70,000	34,483	
人件費	【正規（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.44)		(0.44)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.27)		(0.27)	—	
	人件費 B	B	0	0	—	4,712	4,712	0	
事業費（人件費含む）	C=A+B	0	0	—	40,229		74,712	34,483	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
	一般財源	E=C-D	0	0	—	40,229		74,712	34,483

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 コロナ禍の中、開催の継続と周知方法に課題があった。出店候補事業者への定期的な連絡や新規出店者の募集を行い、再開後の継続実施が可能となるよう、準備を整えていく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 24

事務事業名	消費者教育事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	---------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 消費者教育事業			②
計画事業No.	7 - 1 - 3 - 2			

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち		政策	産業振興による都市活力創出
施策	消費者権利の実現支援		施策番号	7-1-3 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	消費生活に関する必要な情報と消費者教育の機会を提供することにより、消費者の権利を実現し、その自立を促進します。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区内在住・在勤・在学の消費者								
	事業の目的・期待する効果	消費生活に関する知識を習得し、商品及び役務について消費者の自主的かつ合理的な選択の機会が確保されるとともに、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来にわたって内外の社会経済情勢及び地球環境に影響を及ぼし得るものであることを自覚して適切な行動をとる。								
	事業概要	消費生活講座、出前講座等を開催し、日常生活を取り巻く消費者問題を幅広く提供する。								
基礎データ (事業のための資産・利用者等の情報)	消費生活センター新規相談件数 令和3年度 2,382件									
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
	①	消費生活講座の参加者数	↗	人	269	64	270	83	270	
	②	出前講座の参加者数	↗	人	614	265	670	200	680	
	③									
指標の説明	自立した消費者を育成する活動量を示す指標									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座中止と会場定員を縮小したため。							
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○出前講座を区民ひろば、子どもスキップに12回開催し、延200名に消費者教育を実施した。 ○消費生活講座を3回開催し、延83名が受講した。 ○消費者教育用冊子を区立小学校6年生及び区立中学校1年生に2,375冊配布した。 								
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
	①	消費生活講座開催数	↗	回	7	2	6	3	6	
	②	出前講座の実施数	↗	回	20	15	13	12	13	
	③									
指標の説明	①消費生活講座の開催数は、4回シリーズで開催する講座と秩父市連携事業田植え・稲刈り講座の開催合計数 ②出前講座の実施数は、区民ひろばや子どもスキップで実施した出前講座の数									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座中止と会場定員を縮小したため。							

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	847	422	1,018	346	34.0%	1,010	664	
人件費	【正規(人数)】	(0.40)	(0.40)	—	(0.40)		(0.40)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.10)	(0.10)	—	(0.10)		(0.10)	—	
	人件費 B	B	3,760	3,760	—	3,760		3,760	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	4,607	4,182	—	4,106		4,770	664	
財源内訳	国、都支出金		599	307	686	295		51	-244
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
	一般財源	E=C-D	4,008	3,875	—	3,811		4,719	908

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座中止や会場定員を縮小したため、講座開催回数・参加人数が減少している。コロナ禍の中、特にインターネットによる契約トラブルも増加しており、トラブルを未然に防ぐ消費者教育は重要性を増している。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 25

事務事業名	消費者被害防止啓発事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	-------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 消費者被害防止啓発事業		②	計画事業No. 7 - 1 - 3 - 3

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち	政策	産業振興による都市活力創出	
施策	消費者権利の実現支援	施策番号	7-1-3	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	消費生活に関する必要な情報と消費者教育の機会を提供することにより、消費者の権利を実現し、その自立を促進します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区内在住・在勤・在学の消費者							
	事業の目的・期待する効果	契約の基礎知識等を習得し、消費者被害の未然防止と拡大防止を図る。							
	事業概要	○講座を開催し、消費者被害の実態や悪質商法の手口の紹介、その対処法などを提供する。 ○都バスの車内放送や防災無線を活用した街頭放送等による消費者被害への注意喚起を行うとともに、消費生活センターの周知を行う。							
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	・消費生活センター新規相談件数 令和3年度 2,382件								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 出張講座の参加者数		→	人	129	84	100	20	100
	② 事例紹介・出前寄席の参加者数		↗	人	409	142	400	112	300
	③								
指標の説明	消費者被害防止啓発及び相談窓口周知の活動量を示す指標								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座中止と会場定員を縮小したため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	○出張講座及び出前寄席を区民ひろばに8回開催し、延132名に消費者被害防止啓発を行った。 ○出前講座、消費生活展で消費者被害啓発用グッズ等の配布及び注意喚起を行った。 ○都バス車内放送、防災無線を活用した街頭放送等消費生活センター周知の放送を行った。							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 出張講座の実施回数		→	回	7	5	5	2	5
	② 事例紹介・出前寄席の実施回数		↗	回	21	7	20	6	20
③									
指標の説明	①出張講座の実施回数 ②事例紹介・出前講座の実施回数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座中止と会場定員を縮小したため。						

2. 事業費の推移								
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	578	441	644	255	39.6%	648	393
人件費								
【正規(人数)】		(0.40)	(0.40)	—	(0.40)		(0.40)	—
【会計年度任用職員等(人数)】		(0.10)	(0.10)	—	(0.10)		(0.10)	—
人件費 B	B	3,760	3,760	—	3,760		3,760	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	4,338	4,201	—	4,015		4,408	393
財源内訳								
国、都支出金		578	435	643	228		156	-72
使用料・手数料	D							0
地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	3,760	3,766	—	3,787		4,252	465

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座中止や会場定員を縮小したため、講座開催回数・参加人数が減少している。コロナ禍の中、特にインターネットによる契約トラブルも増加しており、トラブルを未然に防ぐ啓発事業は重要性を増している。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 28

事務事業名	消費生活展事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	---------	------	-------	-------

事業特性					
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業
単独／補助	国・都補助 + 区上乗せ事業	運営形態	直営	計画事業No.	
事業を構成する予算事業	① 消費生活展事業			②	

政策体系（令和3年度基本計画）					
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち		政策	産業振興による都市活力創出	
施策	消費者権利の実現支援		施策番号	7-1-3 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標	
施策の目標	消費生活に関する必要な情報と消費者教育の機会を提供することにより、消費者の権利を実現し、その自立を促進します。				

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	区内消費者団体・個人会員及び生活展来場者							
	事業の目的・期待する効果	消費生活展を通して、消費者が消費者問題に対して関心を高め、悪質商法などの消費生活上のトラブルを回避できる自立した消費者となるための意識啓発を図る。							
	事業概要	消費生活に関する身近な問題について、区内の消費者団体・個人会員が日ごろ学習・研究及び実践してきた成果を展示・発表する消費生活展を開催。同時に、当該イベントを通して区民が消費者問題に対して関心を高め、悪質商法などの消費生活上のトラブルを回避できる自立した消費者となるための意識啓発を図る。							
基礎データ (事業のための資産利用者等の情報)	参加消費者団体等内訳 生協5団体、他団体3団体 実行会は原則毎月第4水曜日(消費生活団体連絡会と同時に開催)								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 消費生活展の来場者数	↗	人	758	338	300	194	300
		②							
		③							
	指標の説明	自立した消費者を育成する活動量を示す指標							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場開催を中止し規模を縮小しパネル展開催としたため。					
事業の取組実績	3年度の取組内容	消費者団体8団体参加によるパネル展を開催。コロナ禍のため会場での開催を中止し、本庁舎6階回廊まるごとミュージアムで令和3年11月18日から29日までパネル展示。 アンケート回収数194人。							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 消費生活展の開催	→	回	1	1	1	1	1
		② 消費者団体の参加者数	↗	人	18	11	10	8	10
		③ 消費生活展実行委員会の開催	→	回	6	4	6	9	8
	指標の説明								
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場開催を中止、規模を縮小しパネル展を開催した。					

2. 事業費の推移									
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	672	484	928	288	31.0%	928	640	
人件費	【正規(人数)】	(0.40)	(0.40)	—	(0.40)		(0.40)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.10)	(0.10)	—	(0.10)		(0.10)	—	
	人件費 B	B	3,760	3,760	—	3,760		3,760	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	4,432	4,244	—	4,048		4,688	640	
財源内訳	国、都支出金		275	184	305	135		305	170
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
	一般財源	E=C-D	4,157	4,060	—	3,913		4,383	470

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場開催を中止し規模を縮小しパネル展開催としたため参加団体、来場者数ともに減少した。開催目的である、消費者が消費者問題に対して関心を高め、消費生活上のトラブルを回避できる自立した消費者となるための意識啓発を図ることは、SDGsの推進にも寄与する。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 29

事務事業名	伝統工芸振興事業	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	----------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度	計画／一般	一般事業
単独／補助	国・都補助 + 区上乗せ事業	運営形態	直営	計画事業No.
事業を構成する予算事業	① 伝統工芸振興経費	②		

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進	
施策	地域文化・伝統文化の継承と発展	施策番号	8-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本への推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市
施策の目標	区内に存在する芸術作品や文化芸術活動、文化財や郷土資料など様々な文化資源の魅力をわかりやすく伝える工夫を行いながら、地域文化を継承し、未来に向けて普及発展させていきます。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	豊島区伝統工芸保存会・伝統工芸士							
	事業の目的・期待する効果	区内伝統工芸の継承と親交を担う「豊島区伝統工芸保存会」の活動を支援することで「伝統工芸」の普及と継承が図られるとともに、後継者や伝統工芸保存会の会員数が増加すること。							
	事業概要	①夏休み親子伝統工芸教室、としまものづくりメッセ社会科見学等、伝統工芸振興を図る事業の開催 ②豊島区伝統工芸保存会の実施事業に対する補助金交付(豊島区伝統工芸展) ③伝統工芸士認定制度、その他表彰等に関する事務 ④伝統工芸技術継承のための後継者育成事業実施							
基礎データ (事業のための資産 利用者等の情報)	伝統工芸保存会会員数:23名(準会員2名含む)								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	①	「文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について、肯定的な回答をする区民の割合	↗	%	32.7	38.8	35	33.2	35
	②								
	③								
	指標の説明	「協働のまちづくりに関する区民意識調査」による							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナの影響で一部伝統工芸関係行事が数年できていないことによる普及啓発不足による未達成。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	【展示・販売等】●第29回豊島区伝統工芸展 【作品展示】●常設作品展示(庁舎1階、区民センター1階)●庁舎まるごとミュージアム展示(庁舎5階区長室前展示スペース)●三井住友信託銀行池袋支店展示 【教室等】●豊島区伝統工芸教室●伝統工芸展での社会科見学受け入れ 【後継者育成】豊島区伝統工芸後継者育成事業 【HP改修】保存会HPへのEC機能と英語訳の追加							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	①	伝統工芸展参加者数	→	人	1,558	1,041	900	910	1,000
	②	としまMONOづくりメッセ社会科見学参加者数	→	人	中止	中止	600	中止	600
	③								
指標の説明	①伝統工芸展の参加者数 ②としまMONOづくりメッセ社会科見学参加者数								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナの影響でとしまMONOづくりメッセが3年連続中止となったことによる未達成。						

2. 事業費の推移								
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	5,640	6,312	7,155	6,533	91.3%	6,589	56
人件費	【正規(人数)】			—	(0.60)		(0.60)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】			—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	0	0	—	5,100	5,100	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	5,640	6,312	—	11,633		11,689	56
財源内訳	国、都支出金			0	951		1,729	778
	使用料・手数料	D		0	0		0	0
	地方債・その他			0	0		0	0
	一般財源	E=C-D	5,640	6,312	—	10,682		9,960

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナウイルス感染症拡大により、一部事業が中止されるなどの影響により目標達成には至らなかった。しかしながら、伝統工芸士の高齢化や継承者不足、販路開拓など課題は多いことから、伝統工芸保存会と連携した事業展開を強化していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0502 - 30

事務事業名	遠隔地施設管理経費	担当組織	文化商工部	生活産業課
-------	-----------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度	令和4年度	計画／一般	一般事業	計画事業No.				
	単独／補助	区単独事業	運営形態							
事業を構成する予算事業	① 遠隔地施設管理経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち			政策	生涯学習・生涯スポーツの推進				
施策	多様な学習活動への支援			施策番号	8-2-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標	区民がともに学びあい、地域文化を創造・発信する拠点を整備します。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民							
	事業の目的・期待する効果	山中湖、猪苗代の自然の中、低廉な料金で区民が保養を図る。							
	事業概要	区との協定により、5年間、株式会社フォレストの「山中湖秀山荘」「猪苗代四季の里」での宿泊を区民料金で提供する。							
基礎データ <small>（事業のための資産利用者等の情報）</small>	「山中湖秀山荘」・・・山梨県南都留郡山中湖村 「猪苗代四季の里」・・・福島県耶麻郡猪苗代町								
事業目標の達成状況	成果指標 <small>（事業目標の達成度）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 秀山荘利用区民の人数	→	人	2,613	243	2,613	2,062	2,613
		② 四季の里利用区民の人数	→	人	415	72	415	228	415
		③							
	指標の説明	秀山荘、四季の里を使用した豊島区民の人数。							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う行動規制により、区民の行動が制限されたことの影響をうけたため。					
事業の取組実績	3年度の取組内容 <small>（3年度に実施した具体的な業務内容）</small>	<ul style="list-style-type: none"> 池袋西口～秀山荘の送迎バス運行を5月、6月、11月、12月に企画。5、6月はコロナ緊急事態宣言のため中止になった。 郡山駅～四季の里送迎バス運行を4月～7月まで企画したが4月後半から7月はコロナ緊急事態宣言のため中止になった。 10月、11月に四季の里 秋のバスツアーを実施。 							
	活動指標 <small>（事業の実施状況）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 区広報掲載回数	→	回	3	1	1	2	2
		②							
	③								
	指標の説明	施設側の宿泊企画に合わせて広報で周知することにより、区民の需要を喚起することができる。							
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						

2. 事業費の推移									
単位 <small>（金額の項目：千円 人数の項目：人）</small>		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	42,575	48,866	138,900	138,783	99.9%	775	-138,008	
人件費	【正規(人数)】	(0.50)	(0.40)	—	(0.10)		(0.10)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.40)	(0.10)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	5,690	3,760	—	850		850	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	48,265	52,626	—	139,633		1,625	-138,008	
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0	0
	地方債・その他		779	0	0	0	0	0	0
	一般財源	E=C-D	47,486	52,626	—	139,633		1,625	-138,008

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

- 令和3年度は2年度と比較して利用者数が上向いたが、長期間コロナの規制があったため、コロナ前の水準には到達していない。
- 令和3年度は施設売却時の協定に基づく売却先への交付金及び山中湖村への交付金の支出、4年度は山中湖村への交付金支出があるが、5年度以降区の経費負担はなくなる。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 04

事務事業名	南長崎マンガランド事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	-------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	27年度	事業終了年度	計画／一般	計画事業
単独／補助	区単独事業	運営形態	計画事業No.	7 - 2 - 1 - 3
事業を構成する予算事業	① 南長崎マンガランド事業			②

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち	政策	観光によるにぎわいの創出	
施策	観光資源の発掘と活用【重点】	施策番号	7-2-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市
施策の目標	区民や来街者が、国際アート・カルチャー都市豊島区を楽しめるような回遊ルート設定等、新たな観光資源を発掘します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、海外からの来街者、トキワ荘を含む豊島区ゆかりのマンガ・アニメ文化に関心のある方。							
	事業の目的・期待する効果	トキワ荘ゆかりの地である南長崎を広くPRし、トキワ荘マンガミュージアムを拠点としたマンガによるまちづくりで、より多くの来街者を呼び込み、地域活性化を図る。							
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 豊島区ゆかりのマンガ家作品のモニュメント設置など、南長崎地域全体でマンガを感じられる取り組みを進める。 東長崎駅南口再開発ビル1階屋外にデジタルサイネージを設置、情報発信を行い南長崎地域の回遊性を高める。 							
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	トキワ荘に入居したマンガ家たち11名。ゆかりのあるマンガ家多数。								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	マンガの聖地としま！モニュメントの設置	→	基	4	1	1	0	1
	②								
	③								
指標の説明	新たに設置したモニュメントの基数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	モニュメント設置に向けた交渉が継続中のため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各町会で設置を予定しているモニュメントについて、プロダクションや設置場所を調整し、順次モニュメントを整備。 東長崎駅前再開発ビルに設置したデジタルサイネージのコンテンツにトキワ荘マンガミュージアム、トキワ荘通りお休み処、マンガステーションの基本情報追加およびミュージアム企画展告知、TAAF告知、杉並・中野・豊島3区連携PR動画の更新。 							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	デジタルサイネージの新規コンテンツ追加	→	件	—	10	10	9	10
	②								
③									
指標の説明	デジタルサイネージの新規コンテンツの追加数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	経費内において、新規コンテンツの制作ができなかったため。						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	19,920	8,862	11,061	2,532	22.9%	10,061	7,529	
人件費	【正規（人数）】	(0.60)	(1.33)	—	(1.33)		(1.33)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.60)		—				—	
	人件費 B	B	7,260	11,305	—	11,305		11,305	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	27,180	20,167	—	13,837		21,366	7,529	
財源内訳	国、都支出金		9,572	2,183	0	0		0	0
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
	一般財源	E=C-D	17,608	17,984	—	13,837		21,366	7,529

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
トキワ荘ゆかりの地である南長崎を広くPRし、エリア全体の地域活性化に必要な事業である。今後も既コンテンツの継続と新規制作に向け、取り組むべき事業である。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 06

事務事業名	雑司が谷未来遺産推進事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	--------------	------	-------	-------

事業特性						
事業開始年度	27年度	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.
単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託			7 - 2 - 1 - 6
事業を構成する予算事業	① 雑司ヶ谷未来遺産推進事業			②		

政策体系（令和3年度基本計画）			
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち	政策	観光によるにぎわいの創出
施策	観光資源の発掘と活用【重点】	施策番号	7-2-1 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	区民や来街者が、国際アート・カルチャー都市豊島区を楽しめるような回遊ルート設定等、新たな観光資源を発掘します。		

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民の他、雑司が谷地域に来訪する来街者							
	事業の目的・期待する効果	誰もが「住みたいまち」、「訪れたいまち」と感じる魅力の開拓を行う。魅力的なまちづくりのための地域支援活動を行う。伝統と革新を融合させた事業を展開し、人々の創造的な力を引き出しながら地域社会支援活動を推進する。							
	事業概要	雑司ヶ谷地域の日本ユネスコ協会連盟「未来遺産」登録を契機に、「雑司が谷未来遺産推進協議会」を発足し、事務局機能を担う公益財団法人として未来文化財団に対し、人件費及び事業費の補助を行う。							
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	雑司ヶ谷未来遺産推進協議会ウェブサイトアクセス数 雑司が谷がやがやマップ発行部数								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 雑司が谷未来遺産協議会ウェブサイトアクセス数	↗	人	5,179	8,622	9,000	8,066	8,500
		② 雑司が谷案内処来所者数	↗	人	23,022	9,307	10,000	10,061	11,000
		③							
	指標の説明	①雑司が谷の情報を得るためホームページの閲覧数。 ②雑司が谷のおすすめスポットの案内、地域イベントの情報提供、郷土玩具の展示販売、2階ギャラリー展示などを行う案内処の来所者数。							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルスの影響により、イベントや来訪者が減少したため。					
事業の取組実績	3年度の取組内容	冊子「ぞうしがやたんけん」（制作）1,000部 未来遺産推進協議会総会の紙面開催 雑司が谷未来遺産フォトコンテストの実施 雑司が谷地域における道案内やサインルート整備に関する調査研究（区長提言・関係施設アライジング・ワークショップ・社会実験実施等） 霊園わき緑化活動 事業実施に係る人件費補助							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 雑司が谷未来遺産フォトコンテスト開催	→	回	1	1	1	1	1
		② ワークショップ・シンポジウムの開催	→	回	各1	2	2	1	1
	③ 雑司が谷がやがやマップ配架数	→	部	2,300	1,100	1,500	1,600	1,700	
	指標の説明	①雑司が谷の魅力を後世に伝えていくため開催。 ②歴史と文化のまち雑司が谷「気持ちよく歩ける道」環境づくりの提案のため開催。 ③雑司が谷地域周知のため各所へ配架数。							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	シンポジウムやワークショップを実施しながら話し合いを重ね、昨年はその結果を踏まえて社会実験を行うなど、次の段階へ進んだため。					

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）
事業費	A	5,099	3,671	3,767	3,634	96.5%	4,805	1,171
人件費	【正規（人数）】	(0.30)	(0.30)	—	(0.30)		(0.30)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	2,550	2,550	—	2,550		2,550
事業費（人件費含む）	C=A+B	7,649	6,221	—	6,184		7,355	1,171
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	7,649	6,221	—	6,184		7,355	1,171

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

来街者と地域住民とが共生できる環境整備のため、平成28年より取り組んできた案内サインについて、シンポジウムやワークショップ等で話し合いを重ねた結果を踏まえて社会実験を行うなど、本格設置に向けて更に前進した。今後も未来遺産推進協議会・個々の地域団体の活動を継続的にバックアップしていく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 07

事務事業名	豊島区観光振興プラン推進事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	----------------	------	-------	-------

事業特性													
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	7	-	2	-	1	-	7
単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託										
事業を構成する予算事業	① 豊島区観光振興プラン推進事業経費			②									

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち			政策	観光によるにぎわいの創出					
施策	観光資源の発掘と活用【重点】			施策番号	7-2-1					関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	区民や来街者が、国際アート・カルチャー都市豊島区を楽しめるような回遊ルート設定等、新たな観光資源を発掘します。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、区内外からの来街者									
	事業の目的・期待する効果	豊島区観光振興プランに即した観光施策を推進し、官民一体となって「観光創造都市としま」の実現をめざす。									
	事業概要	当プランは、「観光創造都市としま」の実現を目標に掲げ、観光振興を進めていくための基本方針や施策を明確にしている。5年間で計画期間とし、見直し・改定を行っている。平成31年3月に改定を実施し、その後はプラン推進のため推進委員会を立ち上げ、計画の進捗管理や実施事業の考察を行っている。									
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	豊島区観光振興推進委員会の開催実績：令和3年度3回 *令和2～3年度は、コロナ禍により休止										
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）		
		① 訪問先としての「池袋」順位	↗	位	11	-	10	-	10		
		②									
		③									
	指標の説明	「国・地域別外国人旅行者行動特性調査（東京都）」による。コロナ禍により令和2、3年度は調査未実施。									
	未達成の状況	-	未達成または一部未達成の理由	コロナ禍により効果測定不能。							
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	・市内調査：豊島区観光振興プラン関連事業の進捗状況を調査。 *コロナ禍を受け、観光振興推進委員会は休会となり一度も実施せず。									
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）		
		① 推進委員会の開催	→	回	3	0	2	0	2		
		②									
	③										
	指標の説明	豊島区観光振興推進委員会の開催実績									
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナ禍により観光振興推進委員会が未実施のため。							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	317	0	473	0	0.0%	471	471
人件費	【正規（人数）】	(0.60)	(0.20)	—	(0.20)		(1.00)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.20)	—
	人件費 B	B	5,100	1,700	—	1,700		9,220
事業費（人件費含む）	C=A+B	5,417	1,700	—	1,700		9,691	7,991
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0
	地方債・その他		0	0	0	0	0	0
	一般財源	E=C-D	5,417	1,700	—	1,700		9,691

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

豊島区観光振興プランの令和5年度末での改定に向けて、準備を進めていく。令和4年度については、委員を公募し、11月頃から豊島区観光振興プラン策定委員会を立ち上げ、具体的な検討を開始していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 08

事務事業名	ナイトライフ観光推進事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	--------------	------	-------	-------

事業特性											
	事業開始年度	元年度		事業終了年度	計画／一般	計画事業	計画事業No.	7	2	1	9
	単独／補助	国・都補助事業		運営形態				一部業務委託			
事業を構成する予算事業	① ナイトライフ観光推進事業				②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち				政策	観光によるにぎわいの創出				
施策	観光資源の発掘と活用【重点】				施策番号	7-2-1 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	ソメイヨシノ発祥の地、トキワ荘、池袋モンパルナス、ふくろう等、豊島区のオンリーワンブランドの魅力を活用します。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	外国人を含む区内外からの来街者								
	事業の目的・期待する効果	池袋及び周辺地域の夜の魅力的コンテンツを発掘及び発信し、来街者がより長い時間、街に滞在し、回遊性を向上させ、新たな賑わいを創出する。								
	事業概要	「アフター・ザ・シアター」「ナイトライフ観光」推進の一環として、GLOBAL RINGを拠点に、原則毎週水曜日夜間、Tokyo Music Evening Yubeと題した本格的なクラシックコンサートを開催し、街のイメージ向上を図る。								
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	令和3年度 計31公演実施、主催者発表来場者数 計19,400人									
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① Tokyo Music Evening Yube来場者数	↗	人	3,200	4,350	21,500	19400	22,000	
		②								
	③									
指標の説明	上記指標は、ナイトライフ観光としてのTokyo Music Evening Yubeの集客状況を客観的に示す成果指標。									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 ソーシャルディスタンス確保のため客席数を制限したり、コロナ禍により実施できない公演があったため。								
事業の取組実績	活動指標 （事業の実施状況）	3年度の取組内容	GLOBAL RINGで開催しているTokyo Music Evening Yubeは、コロナ禍による緊急事態宣言の発令により中止となった公演もあるが、ほとんどの公演を振替公演として開催することができ、計31公演を開催することができた。							
		指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① Tokyo Music Evening Yube公演回数	→	回	4	15	35	31	30	
	②									
③										
指標の説明	上記指標は、ナイトライフ観光としてのTokyo Music Evening Yubeの安定的継続的实施を客観的に示す活動指標。									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 緊急事態宣言の発令により中止になった公演1公演のみ振替公演を実施できなかったため。								

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）
事業費	A	10,687	76,652	47,392	47,391	100.0%	63,300	15,909
人件費	【正規（人数）】	(1.50)	(1.50)	—	(1.50)		(1.50)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.20)	(0.20)	—	(0.20)		(0.20)	—
	人件費 B	B	13,470	13,470	—	13,470		13,470
事業費（人件費含む）	C=A+B	24,157	90,122	—	60,861		76,770	15,909
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	52,918	0	-52,918
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0
	地方債・その他		0	0	0	0	0	0
	一般財源	E=C-D	24,157	90,122	—	7,943		76,770

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

令和4年度には、事業拡充を実施し、GLOBAL RINGを拠点に開始されたクラシック音楽による街づくりを「街なかクラシックプロジェクト」として、区内全域で展開していく。音楽による街づくりにより国際文化都市としての街のイメージ向上を図っていく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 09

事務事業名	文化観光施設回遊促進事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	--------------	------	-------	-------

事業特性					
事業開始年度	2年度	事業終了年度		計画／一般	計画事業
単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	計画事業No.	7 - 2 - 1 - 10
事業を構成する予算事業	① 文化観光施設回遊促進事業経費			②	

政策体系（令和3年度基本計画）			
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち	政策	観光によるにぎわいの創出
施策	観光資源の発掘と活用【重点】	施策番号	7-2-1 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	区民や来街者が、国際アート・カルチャー都市豊島区を楽しめるような回遊ルート設定等、新たな観光資源を発掘します。		

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、区外からの来街者							
	事業の目的・期待する効果	IKEBUSを活用し、区内東西において、区中心部から直接的なアクセスが難しかった鈴木信太郎記念館やトキワ荘マンガミュージアムに、直接向かうツアーの運行を実現する。区の魅力的なコンテンツ、文化資源へのアクセス向上を図り、区内の回遊を促進することによって、さらなる来街者数の増加を図っていく。							
	事業概要	区内の魅力的な文化観光スポットをIKEBUSで回遊する事業。土曜日、日曜日を原則として、午前は東コース、午後は西コースを、地域の地理的歴史的背景やホットな話題をおもしろおかしく紹介する添乗員とともに巡る。季節に応じたスペシャルツアーも企画する。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	≪令和3年度実績≫ ツアー実施回数：70回（運行日数41日、延べ参加者数497人）								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 参加者数		↗	人	-	283	576	497	500
	②								
指標の説明	IKEBUSアトカルツアー延べ参加者数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	緊急事態宣言の発令により運行を休止したり、参加キャンセルがあったため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	≪IKEBUSアトカルツアー≫ ツアー実施回数：70回（運行日数41日、延べ参加者数497人） （内訳）：東コース32回（延べ参加者数227人）、西コース34回（延べ参加者数225人）、スペシャルコース4回（延べ参加者数45人） うち、吉本興業×IKEBUSおもしろアトカルツアー ツアー実施回数10回（運行日数5日、延べ参加者数113人）							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① ツアー運行数		↗	回	-	42	70	70	70
②									
③									
指標の説明	IKEBUSアトカルツアー運行数								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 （R3決算比）
事業費	A	2,339	5,488	3,872	70.6%	5,488	1,616
人件費							
【正規（人数）】		(0.50)	—	(0.50)		(0.50)	—
【会計年度任用職員等（人数）】		(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
人件費 B	B	0	4,250	4,250		4,250	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	0	6,589	8,122		9,738	1,616
財源内訳							
国、都支出金		0	—	0		0	0
使用料・手数料	D	0	—	0		0	0
地方債・その他		0	—	0		0	0
一般財源	E=C-D	0	6,589	8,122		9,738	1,616

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
地域の魅力的なコンテンツを周遊するマイクロツーリズムの先進事例として、さらにPRを強化していく。添乗員による解説は好評を博しており、アフターコロナを踏まえ、外国人来街者も含む参加者数の増加を図っていく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 10

事務事業名	池袋北口路上美術館事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	-------------	------	-------	-------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	7	2	2	3
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託							
事業を構成する予算事業	① 池袋北口路上美術館事業経費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち				政策	観光によるにぎわいの創出				
施策	魅力的な観光情報の発信				施策番号	7-2-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	情報の多言語化の推進はもとより、情報関連事業者と連携し、最新の情報発信手段の開拓・活用を進め、PRをしていきます。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民・区内外からの来街者								
	事業の目的・期待する効果	○国際アート・カルチャー都市として、パネル展示を通じ観光資源の発掘とPRが出来るようにする。 ○環境美化の促進、及びセーフコミュニティによる安全・安心なまちづくりの推進を目指す。								
	事業概要	池袋北口線路沿いの約140mのブロック塀が地域的美観を損ねていたため、地域住民等で構成する実行委員会を充足し、平成23年11月23日に「池袋北口路上美術館」を開設。毎年実行委員会で写真パネルの展示内容や美観維持等について検討し、電灯設置・壁面塗装などの維持管理を行っている。								
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	○展示パネルについて（総数37枚。平成30年10月より“全国さくらサミット”の加盟自治体より寄せられた桜の写真を展示。） ○区民・来街者の誰でも無料で鑑賞が可能。									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 地域住民・地元ボランティアとの連携による作業	→	回	0	0	0	0	0	
		② パネル写真絵葉書の作成	→	冊	0	0	0	0	0	
		③ パネル展示数	→	個	37	37	37	37	37	
	指標の説明	①地域住民・地元ボランティアとの連携による作業は、ペンキの塗り替え作業など、地域住民と協働で行った作業数。 ②パネル写真絵葉書の作成は、展示テーマ毎に文化観光課で発行したポストカードブックの発行数。 ③パネル展示数は、池袋北口路上美術館で展示されているパネル数								
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	としまブランドとして色褪せることのない桜に関する写真パネル展示を行っているが、コロナ禍により実行委員会及び地域住民との作業を休止しているため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	3年度に実施した具体的な業務内容 照明器具保守及び維持管理。								
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① パネル展示数	→	枚	37	37	37	37	37	
		② 地域住民等で構成する実行委員会の開催	↗	回	2	0	2	0	0	
	指標の説明	①パネル展示数は、池袋北口路上美術館で展示されているパネル数。 ②地域住民等で構成する実行委員会の開催は、展示テーマなどについて協議する実行委員会の開催数								
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	としまブランドとして色褪せることのない桜に関する写真パネル展示を行っているが、コロナ禍により実行委員会及び地域住民との作業を休止しているため。						

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	218	213	328	217	66.2%	298	81
人件費	【正規（人数）】	(0.00)	(0.20)	—	(0.20)		(0.20)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	0	1,700	—	1,700		1,700
事業費（人件費含む）	C=A+B	218	1,913	—	1,917		1,998	81
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0
	地方債・その他		2	1	3	5	3	-2
一般財源	E=C-D	216	1,912	—	1,912		1,995	83

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

コロナ禍により当初の活動（実行委員会の開催及び地域住民による作業）が実施されていないが、地域の安全・安心なまちづくりの推進及びとしまブランドのPRという目的には十分貢献しているため、現状維持とする。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 11

事務事業名	観光イベント支援事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	------------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	7	2	1	1
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営							
事業を構成する予算事業	① 観光イベント支援経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち			政策	観光によるにぎわいの創出				
施策	魅力的な観光情報の発信			施策番号	7-2-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標	ソメイヨシノ・トキワ荘などオンリーワンブランド資源の情報を始め、年間を通じた様々なイベントの魅力を国内外へ広めるため、受け手目線に立ったPR手段を講じます。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民の他、魅力ある観光イベントを楽しむために訪れた来街者							
	事業の目的・期待する効果	副都心としてのイメージアップを図り、本区の観光文化活動を推進する。							
	事業概要	区の地域活性化に寄与する魅力ある観光イベント実施団体に対しイベント経費の一部補助等を行なっている。							
基礎データ <small>（事業のための資産利用者等の情報）</small>	・イベント支援分担金の実績報告書記載の参加者数								
事業目標の達成状況	成果指標 <small>（事業目標の達成度）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① イベント来場者数		↗	万人	171	72	100	106	100
	②								
	③								
指標の説明	各地域で開催されるイベントの来場者数								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容 <small>（3年度に実施した具体的な業務内容）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・西武沿線サミット…フォトコンテストの開催等 ・東武沿線サミット…観光情報誌「チッタビ」の発行 ・大塚バラ祭り…フォトコンテストなどの開催 ・南大塚都電沿線協議会…都電沿線の緑化活動 ・すがも中山道菊祭り…巣鴨地藏通り商店街にて菊祭りの実施 ・鼻の樹を創る会…池袋の街中に鼻像を建設、フォトコンテストの実施 							
	活動指標 <small>（事業の実施状況）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① イベント支援数		→	件	14	7	10	6	10
	②								
③									
指標の説明	イベントを支援する分担金・補助金の交付先数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となったため。							

2. 事業費の推移									
単位 <small>（金額の項目：千円 人数の項目：人）</small>	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)		
事業費	A	45,995	5,680	39,975	3,149	7.9%	38,842	35,693	
人件費	【正規(人数)】	(1.20)	(1.20)	—	(1.20)		(1.20)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)			—	
	人件費 B	B	10,200	10,200	—	10,200		10,200	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	56,195	15,880	—	13,349		49,042	35,693	
財源内訳	国、都支出金								0
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	56,195	15,880	—	13,349		49,042	35,693	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

コロナ禍に入り、大規模イベントの開催がR2は難しく入場者数が減少傾向にあったが、オンラインでの開催など感染症対策を適切に行うことにより、来場者数が増加した。支援するイベントは地域との繋がりがあり、楽しみに待つ来街者が多く、来場者数も多いイベントであるため、引き続き支援を継続していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 12

事務事業名	観光情報発信事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	----------	------	-------	-------

事業特性										
事業を開始する年度	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託						
事業を構成する予算事業	① 観光情報発信事業				②					

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち				政策	観光によるにぎわいの創出				
施策	魅力的な観光情報の発信				施策番号	7-2-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	情報の多言語化の推進はもとより、情報関連事業者と連携し、最新の情報発信手段の開拓・活用を進め、PRをしていきます。									

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民の他、魅力ある観光イベントを楽しむために訪れた来街者							
	事業の目的・期待する効果	区内観光情報を広い地域、幅広い年齢層の人々に対し発信することで、区に対する理解や親しみを深め集客力の向上を図る。							
	事業概要	地域の文化・観光資源を活用し、豊島区の魅力を内外に発信するマップを作成する。							
基礎データ（事業のための資産、利用者等の情報）	観光パンフレット発行部数								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	観光パンフレットの発行部数	↗	部	40,000	0	40,000	0	40,000
	②								
	③								
	指標の説明	観光情報周知のための各所への配架数。							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛やイベントの中止などが続いたため、パンフレットの作成は行わなかった。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	ななまーるステッカーの配布 IKE-CIRCLEの活用							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	観光パンフレットの発行部数	↗	部	40,000	0	40,000	0	40,000
	②								
	③								
指標の説明	観光情報周知のための各所への配架数。								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛やイベントの中止などが続いたため、パンフレットの作成は行わなかった。						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円） （人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	1,369	763	1,295	357	27.6%	1,595	1,238	
人件費	【正規（人数）】	(0.30)	(0.30)	—	(0.30)		(0.30)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	2,550	2,550	—	2,550		2,550	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	3,919	3,313	—	2,907		4,145	1,238	
財源内訳	国、都支出金								0
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	3,919	3,313	—	2,907		4,145	1,238	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

新型コロナウイルスの影響により、マップやパンフレットの作成は行わなかったが、2021年3月に公開したWebサイト「IKE-CIRCLE」を活用し、豊島区の文化・観光・交流都市などの情報を幅広く発信し続けた。今後は様々な媒体の特長を活かしながら区の魅力を発信して、観光誘客につなげる必要がある。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 13

事務事業名	雑司が谷情報ステーション管理運営事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	--------------------	------	-------	-------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	7	2	2
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託						
事業を構成する予算事業	① 雑司が谷情報ステーション管理運営事業				②					

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち				政策	観光によるにぎわいの創出			
施策	魅力的な観光情報の発信				施策番号	7-2-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標	情報の多言語化の推進はもとより、情報関連事業者と連携し、最新の情報発信手段の開拓・活用を進め、PRをしていきます。								

1. 事業の概要										
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	雑司が谷地域に來訪する観光客								
	事業の目的・期待する効果	地域の魅力や観光に必要な情報を提供し、観光客の増加および地域活性化を図る。								
	事業概要	並木ハウスアネックスの一部借り上げ、日本ユネスコ協会連盟の未来遺産である雑司が谷のおすすめスポットの案内、地域イベントの情報提供、郷土玩具の展示販売、2階ギャラリー展示などを行う「雑司が谷情報ステーション（愛称：雑司が谷案内処）」の管理運営を行う。								
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	雑司が谷案内処來所者数									
事業目標の達成状況	指標		目指す方向性	単位	元年度	2年度	3年度	3年度	4年度	
	成果指標（事業目標の達成度）	① 雑司が谷案内案内処來所者数	↗	人	23,022	9,307	9,500	10,061	11,000	
		②								
		③								
指標の説明	雑司が谷のおすすめスポットの案内、地域イベントの情報提供、郷土玩具の展示販売、2階ギャラリー展示などを行う案内処の來所者数。（新型コロナウイルス感染症の影響で休館していた期間があるため、令和3年度の実績値は約11か月分のものとなっている。）									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
事業の取組実績	3年度の取組内容		雑司が谷案内処公共料金及びAEDリース代、建物賃借料の支払い 雑司が谷情報ステーション管理運営委託費の交付 とし案内人雑司が谷への区民活動支援事業補助金の交付							
	活動指標（事業の実施状況）	指標		目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 雑司が谷案内処運営協議会の開催	→	回	2	2	2	2	2	
		② 雑司が谷案内処応援倶楽部月例会	→	回	11	10	11	9	11	
③ 雑司が谷案内処2階ギャラリーイベント	→	回	11	9	9	11	11			
指標の説明	①案内処を運営するために地域を代表する運営委員が集まり、定期的にあり方等を検討する会議の開催回数。 ②毎日雑司が谷案内処の構成員（区職員含む）が集まり、情報共有や課題を話す会議の開催回数。 ③イベントの年間開催回数。									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 新型コロナウイルス感染症の影響により、対面形式での会議は中止となり、書面で情報共有を図った。								

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	8,452	9,513	9,689	8,715	89.9%	9,739	1,024	
人件費	【正規（人数）】	(0.30)	(0.30)	—	(0.30)		(0.30)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	2,550	2,550	—	2,550		2,550	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	11,002	12,063	—	11,265		12,289	1,024	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
一般財源	E=C-D	11,002	12,063	—	11,265		12,289	1,024	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 日本ユネスコ協会連盟の未来遺産である雑司が谷のおすすめスポットの案内、地域イベントの情報提供、郷土玩具の展示販売、2階ギャラリーでの展示など、雑司が谷の文化発信や賑わい創出を担う案内処の役割は大きい。新型コロナウイルスの影響を受け、來所者数は回復しきれていないが、令和3年中にのべ30万人を達成した。引き続き感染対策に取り組みながら、改めて地域の情報発信拠点としての役割を区の広報メディアを通じて発信し、來所者数の増加に努める。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 14

事務事業名	としま区民センター内インフォメーションセンター運営事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	-----------------------------	------	-------	-------

事業特性											
	事業開始年度	元年度	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	7	2	3	5
	単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託							
事業を構成する予算事業	① としま区民センター内インフォメーション運営事業経費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち				政策	観光によるにぎわいの創出				
施策	来街者の受入環境の整備				施策番号	7-2-3 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	平成32(2020)年東京オリンピック・パラリンピックに向け増加する外国人観光客に対応するため、観光ボランティアガイドの育成等の「国際アート・カルチャー都市」にふさわしい人材育成を積極的に支援します。									

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	国内外からの旅行者及び区民							
	事業の目的・期待する効果	国内外からの旅行者及び区民に対し、多言語観光案内及びデジタルサイネージの映像を通じ、豊島区及び都内の魅力を効果的にPRするとともに、JNTO認定外国人案内所カテゴリー2の認定基準を満たす運営を行う。							
	事業概要	としま区民センター1階にあるインフォメーションの運営(受託事業者:公益財団法人とし未来文化財団)							
基礎データ (事業のための資産・利用者等の情報)	<来所者数> ※日本人、外国人の合計値 ・令和元年度合計 8,107人(11月1日開設) ・令和2年度合計 8,463人 ・令和3年度合計 6,798人								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 日本人来所者数	↗	人	7,822	8,407	10,000	6,776	10,500
		② 外国人来所者数	↗	人	285	56	400	22	400
	③								
	指標の説明	①日本人来所者数は、としま区民センターインフォメーションへ来所された日本人観光客数 ②外国人来所者数は、としま区民センターインフォメーションへ来所された外国人観光客数							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナ禍による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発令により、行動制限及び入国制限があったため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	としま区民センターインフォメーションの運営							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 来所者数	↗	人	8,107	8,463	10,400	6,798	10,900
		②							
	③								
指標の説明	①来所者数は、としま区民センターインフォメーションへ観光案内所目的に来所された方の人数(日本人・外国人含む)								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナ禍による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発令により、行動制限及び入国制限があったため。						

2. 事業費の推移									
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 (R3決算比)	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	30,000	59,800	50,380	40,401	80.2%	43,483	3,082	
人件費	【正規(人数)】	(0.30)	(0.30)	—	(0.30)		(0.30)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	2,550	2,550	—	2,550		2,550	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	32,550	62,350	—	42,951		46,033	3,082	
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	0	0	0	
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0	
	地方債・その他		0	0	0	0	0	0	
一般財源	E=C-D	32,550	62,350	—	42,951		46,033	3,082	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

令和4年6月10日よりインバウンドが再開となった。日本人観光客、外国人観光客の双方に対応できるよう日々の経験を積み重ね、業務内容の改善を図っていく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 16

事務事業名	観光案内標識整備推進事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	--------------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	7	2	3	3
	単独／補助	国・都補助事業	運営形態	全部業務委託						
事業を構成する予算事業	① 観光案内標識整備推進事業経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち			政策	観光によるにぎわいの創出				
施策	来街者の受入環境の整備			施策番号	7-2-3		関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標		
施策の目標	一般社団法人豊島区観光協会と協力し、多言語対応や新たな情報発信の手段を構築する等、来街者満足度の向上を図ります。								

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、来街者							
	事業の目的・期待する効果	来街者が安心して目的地に到着できるために、誰にでもわかる観光案内標識を整備し維持管理を行う。							
	事業概要	ビクトグラム（絵文字）や多言語で表記した観光案内標識を設置するとともに維持管理を行う。新規設置については、周辺の主要な施設の建設等を考慮し検討する。維持管理は、適宜必要に応じて地図データの部分変更や汚損破損への対応を行う。							
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	区設置の案内地図サイン：計49基 区設置の誘導サイン（矢羽型誘導）：計5基 区設置の誘導サイン（非矢羽型）：計38基 ※都設置の案内地図サイン：17基								
	事業目標の達成状況	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
成果指標 （事業目標の達成度）	① 案内サイン数	→	基	70	111	111	111	111	
指標の説明	当事業において手掛けている案内サインの総数。								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	【新規設置】なし 【維持管理】著名地点案内 修繕17基 【清掃】なし 【点検】なし							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 新規設置	↗	基	9	38	0	0	0	
	② 維持管理作業	↗	基	30	53	0	1	1	
	③ 清掃等作業	↗	基	0	12	12	0	0	
指標の説明	令和3年度は、著名地点案内1基分の施設名修正を行った。								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 令和2年度、5年以上修繕の周期が経過している要町、駒込、巣鴨の観光案内標識について、点検を兼ねた清掃を行ったため、令和3年度の清掃等作業を実施しなかったことによる。							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	62,058	40,791	350	579	165.4%	1,051	472	
人件費	【正規（人数）】	(1.00)	(1.00)	—	(1.00)		(1.00)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	8,500	8,500	—	8,500		8,500	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	70,558	49,291	—	9,079		9,551	472	
財源内訳	国、都支出金		30,379	18,193	0	155		0	-155
	使用料・手数料	D	0	0	0	0		0	0
	地方債・その他		0	0	0	0		0	0
	一般財源	E=C-D	40,179	31,098	—	8,924		9,551	627

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

Hareza池袋、トキワ荘マンガミュージアム開設に伴う観光案内標識の新規設置及び修繕は終了したため、今後は、公共施設新設への対応及び周辺地域における修繕対応を継続していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 17

事務事業名	観光振興事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	--------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態		計画事業
事業を構成する予算事業	① 観光振興事業経費		②	計画事業No. 7 - 2 - 3 - 2

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち	政策	観光によるにぎわいの創出	
施策	来街者の受入環境の整備	施策番号	7-2-3	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	一般社団法人豊島区観光協会と協力し、多言語対応や新たな情報発信の手段を構築する等、来街者満足度の向上を図ります。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	観光振興関連団体							
	事業の目的・期待する効果	多くの来街者が訪れる活気ある観光都市づくりを目指す。							
	事業概要	豊島区観光協会と連携を図り、多言語対応や新たな情報発信を構築する等、来街者満足度の向上を図る。							
基礎データ <small>（事業のための資産利用者等の情報）</small>	・観光協会会員数 259団体（令和4年3月末現在） ・令和3年度観光情報センター来所者数 187人（うち外国人0人）								
事業目標の達成状況	成果指標 <small>（事業目標の達成度）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 観光協会会員数	→	団体	273	272	272	259	265
		②							
		③							
	指標の説明	観光協会に加入している団体数							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナ禍により会員数が減少したため。					
事業の取組実績	3年度の取組内容 <small>（3年度に実施した具体的な業務内容）</small>	観光協会運営支援 ・補助金の支出 ・区発行のパンフレット等の提供 ・都庁観光情報センターPR事業支援							
	活動指標 <small>（事業の実施状況）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 情報交換会の運営	→	回	10	0	0	0	0
		②							
	③								
	指標の説明	観光協会会員を対象とした情報交換会							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナ禍により情報交換会が休止となっているため					

2. 事業費の推移

単位 <small>（金額の項目：千円 人数の項目：人）</small>		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 <small>（R3決算比）</small>
事業費	A	37,607	28,687	38,459	25,981	67.6%	40,169	14,188
人件費	【正規（人数）】	(1.00)	(1.00)	—	(1.00)		(1.00)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	8,500	8,500	—	8,500		8,500
事業費（人件費含む）	C=A+B	46,107	37,187	—	34,481		48,669	14,188
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0
	地方債・その他		0	0	0	0	0	0
	一般財源	E=C-D	46,107	37,187	—	34,481		48,669

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 コロナ禍により、令和2年度に引き続き、豊島区観光協会の事業が大幅に縮小している。また、情報交換会も休止となっており従来の活動は制限されている。令和4年度については、アフターコロナを踏まえ、イベント等が再開してきているので、新たな運営方法を模索しながら来街者の満足度を向上させるべく改善を図っていく必要がある。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 18

事務事業名	都市交流推進事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	----------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 都市交流関係経費			②
計画事業No.	8	-	1	-
			3	-
				1

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進	
施策	交流の推進によるにぎわいと発展の共有	施策番号	8-1-3	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 様々な地域と共生・交流を図り、豊かな生活を実現できるまち
施策の目標	地方都市との交流を推進し、文化・観光を始めとした取組みを実践します。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	姉妹友好都市、防災協定都市、相互交流宣言都市等本区と何らかの交流がある都市							
	事業の目的・期待する効果	他都市との交流を推進し、交流都市相互間の魅力を再確認することにより、人的・物的な相互交流を促進し、地域の活性化を図る							
	事業概要	他都市との交流を推進し、文化交流、相互理解と友好を深めることで、都市間の人々の滞留を創出し、地域の活性化を促進する							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	交流のある国内・外93都市								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 姉妹・友好・交流都市数	→	数	89	89	90	93	94
		②							
		③							
	指標の説明								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						
事業の取組実績	3年度の取組内容	沖縄県伊江村との相互交流宣言、愛媛県内子町との文化交流都市協定、長野県長野市との集客プロモーションパートナー都市協定締結【ファーマーズマーケット】交流都市出店に向けた調整							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 自然体験交流開催回数	→	回	3	0	3	0	3
		② 物産展の出店自治体数	→	数	18	6	15	10	15
		③ 文化交流の実施回数	→	回	1	0	1	1	1
	指標の説明	交流都市（茨城県常陸大宮市・栃木県那須烏山市・栃木県那珂川町）による自然体験イベント、物産の展示・販売、秩父市・内子町との文化交流事業							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 コロナ禍により事業を中止したため						

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	1,101	425	2,007	788	39.3%	3,107	2,319
人件費	【正規（人数）】	(0.50)	(0.50)	—	(0.50)		(0.50)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	4,250	4,250	—	4,250		4,250
事業費（人件費含む）	C=A+B	5,351	4,675	—	5,038		7,357	2,319
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	5,351	4,675	—	5,038		7,357	2,319

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

ファーマーズマーケットに初出店する自治体との調整や、新たに協定や宣言を締結した自治体もあり、新型コロナウイルス感染拡大の影響により人流が大きく制限されるなかであっても大きな成果をあげられたものとする。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0503 - 20

事務事業名	東アジア文化都市推進事業	担当組織	文化商工部	文化観光課
-------	--------------	------	-------	-------

事業特性														
事業開始年度	28年度		事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	-	1	-	4	-	10
単独／補助	国・都補助事業		運営形態	直営										
事業を構成する予算事業	① 東アジア文化都市推進事業経費				②									

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち				政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進				
施策	アート・カルチャーによる魅力の発信【重点】				施策番号	8-1-4 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	文化を媒体として、世界に豊島区の魅力をアピールし、バーチャルだけでなくリアルに世界とつながり、新たな文化潮流を常に発信し続ける魅力と活力にあふれた都市像を発信していきます。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	日本人の豊島区民及び中韓を中心とした外国人区民、2019年東アジア文化都市開催都市の市民、東京都を始めとする日本国民、東アジアの国民											
	事業の目的・期待する効果	東アジア文化都市事業をオールしよまの体制で取り組むことにより、「国際アート・カルチャー都市」としての機運の向上とともに国内外に向けた本区の魅力発信を図る。											
	事業概要	東アジア文化都市交流事業のレガシーとして、事業を実施した2019年以降も中国・西安市や韓国・仁川広域市との文化による交流を継続して実施するための事業。											
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	2019年東アジア文化都市開催都市：中国・西安市（人口：約825万人、面積：10,108km ² ）、韓国・仁川広域市（人口：約302万人、面積：1,063km ² ）												
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）				
		① 区民意識調査における東アジア文化都市の認知割合	↗	%	45	-	-	-	-				
		② インターネットアンケートにおける東アジア文化都市の認知割合	↗	%	60	-	-	-	-				
	③ 区民意識調査における中国・韓国文化への興味関心	↗	%	45	46	50	45	50					
指標の説明	①区民意識調査における豊島区が2019年「東アジア文化都市」を実施していることについての認知割合 ②豊島区の文化政策評価に係るインターネットアンケートにおける豊島区が2019年「東アジア文化都市」を行っていたことについての認知割合 ③区民意識調査における中韓文化への興味関心に「興味がある」「やや興味がある」と回答した割合												
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナ禍でイベント開催が抑制されたことで、海外都市をPRする機会を多数喪失したことによる。										
事業の取組実績	3年度の取組内容	1. 交流事業 (1)2021東アジアフェスティバル(仁川広域市) (2)第2回東アジア文化都市サミット(文化庁) (3)2022年西安新春音楽会(西安市) (4)中国・東アジア・欧州文化都市対話(中国・文化観光部国際交流・協力局) (5)東アジア文化都市交流事業(豊島区) ※(3)～(5)は延期となった。 2. 東アジア文化都市2020-2021北九州 閉幕式典への出席											
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）				
	① 日中韓交流事業の実施	→	回	2	7	3	3	3					
	②												
③													
指標の説明	日中韓開催都市による事業の実施												
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由											

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	277,713	6,316	9,800	5,389	55.0%	9,800	4,411	
人件費	【正規(人数)】	(8.00)	(1.00)	—	(1.00)		(1.00)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(1.00)	—	(1.00)		(1.00)	—	
	人件費 B	B	68,000	12,100	—	12,100		12,100	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	345,713	18,416	—	17,489		21,900	4,411	
財源内訳	国、都支出金		68,859	949	0	0		0	0
	使用料・手数料	D			0	0		0	0
	地方債・その他		208,854		0	0		0	0
	一般財源	E=C-D	68,000	17,467	—	17,489		21,900	4,411

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 コロナ禍のなかであったがオンライン交流を実施したことで西安市、仁川広域市との関係性の維持を図ることができた。
 ワクチン接種率の向上など人流の抑制に対する考え方が緩和されてきたなかで、感染症の拡大のような外的要因に左右されない事業を継続して実施する仕組みの構築が必要と考える。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0504 - 01

事務事業名	廃止施設活用事業経費	担当組織	文化商工部	学習・スポーツ課
-------	------------	------	-------	----------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度	令和3年度	計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① 廃止施設活用事業経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち			政策	生涯学習・生涯スポーツの推進				
施策	多様な学習活動への支援			施策番号	8-2-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本への推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市			
施策の目標	図書館や地域文化創造館など、多様な学習ニーズに対応した身近な生涯学習の場づくりをすすめます。								

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	閉校施設利用登録団体							
	事業の目的・期待する効果	廃止施設の暫定活用という施設の位置づけのもと、必要最小限の範囲で閉校施設周辺の区民活動に貢献する。							
	事業概要	閉校した中学校において、グラウンドや教室を登録団体に貸し出している。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	閉校施設利用登録団体数：12団体（テニス6団体、少年野球4団体、少年サッカー2団体）								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 庭球場利用者数	↗	人	4,353	3,569	4,000	3,777	
		② 校庭利用者数	↗	人	6,272	7,450	7,500	6,833	
	③								
指標の説明	庭球場と校庭の延べ利用者数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染拡大防止により利用を停止したため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	3年度に実施した具体的な業務内容 閉校施設利用登録団体に対し、閉校施設である旧第十中学校のテニスコートおよびグラウンドを、青少年の健全育成及び地域コミュニティの振興を目的とした活動並びに生涯学習活動の場として年間100日程度開放した。							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 閉校施設利用登録団体	→	団体	13	13	13	12	—
		② 開放事業実施校数	→	校	1	1	1	1	—
③									
指標の説明	閉校した学校において、グラウンドや教室を登録団体に貸し出している。旧高田小学校については平成29年9月で施設開放事業を中止し区立公園を整備。旧第十中学校についても、野外スポーツ施設の整備工事が始まるため、令和3年度本事業終了。								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	利用登録団体の減少があったため。						

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	16,335	24,707	29,791	15,059	50.5%		-15,059
人件費	【正規(人数)】	(0.40)	(0.90)	—	(1.30)			—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)			—
	人件費 B	B	3,400	7,650	—	11,050		0
事業費(人件費含む)	C=A+B	19,735	32,357	—	26,109		0	-26,109
財源内訳	国、都支出金		0	6,822				0
	使用料・手数料	D	90	116	90	106		-106
	地方債・その他		1,164	0	8,711	3,698		-3,698
	一般財源	E=C-D	18,481	25,419	—	22,305		0

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 平成18年度より始まった旧第十中学校の暫定利用は、跡地での野外スポーツ施設整備工事が開始されることに伴い、令和4年2月末を持って終了となった。利用登録団体のうち青少年団体については、旧真和中グラウンドでの特別利用を認め、令和4年5月から令和5年秋ごろまで、土曜日、日曜日に活動を行っている。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0504 - 02

事務事業名	地域文化創造館管理運営経費	担当組織	文化商工部	学習・スポーツ課
-------	---------------	------	-------	----------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	指定管理者	計画事業
事業を構成する予算事業	① 地域文化創造館運営経費			②
計画事業No.	8	-	2	-
	1	-	1	

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	政策	生涯学習・生涯スポーツの推進	
施策	多様な学習活動への支援	施策番号	8-2-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	図書館や地域文化創造館など、多様な学習ニーズに対応した身近な生涯学習の場づくりをすすめます。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民							
	事業の目的・期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の主体的な生涯学習活動を支援し、人・活動・地域づくりに結びつける ・地域の歴史的・文化的資源を区民の共有財産として継承・活用し、地域への愛着・誇りを醸成する 							
	事業概要	生涯学習活動の拠点として、地域文化創造館5館を管理運営している。平成17年度より公益財団法人としま未来文化財団を指定管理者とし、区民教室、各地域の特色を活かした地域文化創造事業を実施する。平成27年10月に旧平和小学校体育館に開設した千早地域文化創造館多目的ホールは、西部複合施設整備開始のため令和3年度末で廃止となった。							
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	【施設】駒込地域文化創造館、巣鴨地域文化創造館、南大塚地域文化創造館、雑司が谷地域文化創造館、千早地域文化創造館、千早地域文化創造館多目的ホール 【指定管理者】公益財団法人としま未来文化財団 【利用者】団体登録が必要（一般・生涯学習・文化創造団体・青少年団体）。料金について生涯学習団体・文化創造団体は25%、青少年団体は50%減額。								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 地域文化創造館市域利用率	→	%	60	54	60	51	61
		② 地域文化創造館施設利用者数	→	人	392,181	144,543	150,000	158,571	275,000
		③ 地域文化事業（エリアガイドボランティア）参加者数	→	人	442	0	150	276	350
	指標の説明	①千早地域文化創造館多目的ホールを含む地域文化創造館5館の施設利用率の平均値。 ②千早地域文化創造館多目的ホールを含む地域文化創造館5館の施設利用者数の合計人数。 ③地域文化事業エリアガイドボランティア養成講座参加人数。（コロナによる参加人数減）							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症対策の影響及びワクチン接種会場として南大塚を除く地域文化創造館が使用されたため。					
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、4月25日～5月31日までは貸出中止。また、利用人数や活動内容についても一部制限された。 ・安全安心に区民が地域文化創造館を利用できるよう、館内で注意喚起を行ったり、利用方法について利用団体に細やかに確認を行いながら、利用促進に努めた。 ・例年開催している学習成果の発表の場である文化祭は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となったが、代替として、生涯学習団体による展示会等を実施し、コロナ禍においても区民の文化活動の促進を図った。 ・文化カレッジについても、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、一部の講座を対面で実施した。 							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 区民教室（文化カレッジ）等開催回数	→	回	210	226	230	123	208
		② 文化祭参加者数	→	人	6,190	1,262	7,250	765	7050
	③ 団体支援・連携事業参加者数	→	人	391	0	250	0	250	
	指標の説明	①区民教室（文化カレッジ）の開催回数。 ②地域文化創造館5館それぞれの文化祭参加者数の合計（2、3年度は中止したため代替事業の参加者数を記載、4年度は開催形態を検討中） ③地区がサークル間の交流や連携のための支援を行った事業への参加者人数、3年度は中止							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症対策の影響及びワクチン接種会場として南大塚を除く地域文化創造館が使用されたため。					

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）
事業費	A	26,507	295,812	37,662	35,184	93.4%	290,725	255,541
人件費	【正規（人数）】	(2.50)	(2.30)	—	(2.30)		(2.30)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
人件費 B	B	21,250	19,550	—	19,550		19,550	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	47,757	315,362	—	54,734		310,275	255,541
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料			1,543	586		175	-411
	地方債・その他	893	721	24,976	0		25,303	25,303
一般財源	E=C-D	46,864	314,641	—	54,148		284,797	230,649

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

地域文化創造館は、区民の身近な文化活動や生涯学習の拠点として、地域コミュニティを支えている。引き続き、指定管理者であるとしま未来文化財団と連携し、施設の管理運営や事業の実施に組んでいく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0504 - 03

事務事業名	スポーツ・レクリエーション活動振興経費	担当組織	文化商工部	学習・スポーツ課
-------	---------------------	------	-------	----------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	① 区民体育大会当経費、都民体育大会等経費、友好親善スポーツ・レクリエーション交流大会経費		②	計画事業No. 8 - 2 - 2 - 3
	スポーツ推進委員関係経費			

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	政策	生涯学習・生涯スポーツの推進	
施策	スポーツ・レクリエーション活動の推進【重点】	施策番号	8-2-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本への推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市
施策の目標	年齢や健康状態、障害の有無にかかわらず、誰もが生涯を通してスポーツに親しむことができる環境を整備します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民							
	事業の目的・期待する効果	スポーツやレクリエーション活動への参加を促し、スポーツ実施率向上につなげ、健康増進の一助とする。							
	事業概要	区民大会・都民大会予選会、姉妹都市の秩父市や城北4区との交流大会を関係団体との共催で実施する。また、スポーツ・レクリエーションの普及を目的とした団体（体育協会・レクリエーション協会等）の活動を支援する。スポーツ推進委員は、区民への指導や助言、としまスポーツまつり実行委員会の中心として企画運営を行っている。							
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	体育協会32団体、レクリエーション協会6団体、スポーツ推進委員、目白ロードレース実行委員会、秩父市体育協会13団体、城北地区（北区、荒川区、板橋区、練馬区）体育協会								
事業目標の達成状況	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
	① 区民大会・都民大会参加人数（延べ）	↗	人	11440	3075	14500	4117	15000	
	② 秩父市・城北地区親善交流大会参加人数（延べ）	↗	人	853	0	1100	93	1200	
	③ としまスポーツまつり参加者数	↗	人	2800	0	5000	0	5000	
	指標の説明	区民のスポーツ実施率、参加頻度を確保するため、区民、都民各大会、各交流事業の参加人数を指標としている。							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの影響により事業の中止、縮小があったため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	としまスポーツまつり2021（中止） 第74回都民体育大会予選会、選手派遣 第42回レディース・スポ・レク大会 城北五区親善交流大会 レクリエーション団体事業 第25回目白ロードレース（中止） 第74回区民体育大会 種目別選手権大会 第39回秩父市親善交流大会（中止）							
	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
	① 区民大会・都民大会実施種目数（延べ）	↗	種目	45	16	47	25	47	
	② 秩父市・城北地区親善交流大会実施種目数（延べ）	↗	種目	20	0	21	5	21	
	③ スポーツ推進委員派遣回数	↗	回	65	18	30	14	30	
指標の説明	スポーツ推進委員の主な役割は、区民へのスポーツの紹介、スポーツに親しむ機会の提供、簡単なスポーツに関する指導などであるが、スポーツ推進委員は初級障害者スポーツ指導員の資格保持者が50%以上いるため、障害者スポーツにも貢献している。具体的には、区民ひろばにおける高齢者の脳トレ・筋トレタイム、ボッチャ体験教室の指導などを行っている。								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの影響により事業の中止、縮小があったため。						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	29,581	17,819	37,704	20,277	53.8%	36,565	16,288	
人件費	【正規（人数）】	(0.40)	(1.20)	—	(1.50)		(1.20)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)			—	
	人件費 B	B	3,400	10,200	—	12,750		10,200	-2,550
事業費（人件費含む）	C=A+B	32,981	28,019	—	33,027		46,765	13,738	
財源内訳	国、都支出金		3,480		8,240	119			-119
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	29,501	28,019	—	32,908		46,765	13,857	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナの影響が長引き、各種大会や交流事業の中止、延期が続いたが、感染状況が落ち着けば徐々に事業が再開され、区民の方のスポーツ実施気運が高まってくることを期待される。引き続き、体育協会、レクリエーション協会を支援していくことに加え、スポーツ推進委員の活動によって、区民のスポーツ実施機会が確保されることを期待したい。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0504 - 04

事務事業名	生涯スポーツ推進事業経費	担当組織	文化商工部	学習・スポーツ課
-------	--------------	------	-------	----------

事業特性													
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	-	2	-	1	-	1
単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託										
事業を構成する予算事業	① 生涯スポーツ推進事業経費			②									

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち			政策	生涯学習・生涯スポーツの推進					
施策	スポーツ・レクリエーション活動の推進【重点】			施策番号	8-2-2		関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			日本の推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市
施策の目標	区内の関係団体と連携し、各種スポーツ大会や次代を担うジュニア育成、シニアの健康づくりにつながる講座や教室等を開催し、地域における区民のスポーツ・レクリエーション活動を支援します。									

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民							
	事業の目的・期待する効果	年齢や性別を問わず、スポーツに親しみ、楽しめる機会を提供し、スポーツ人口の増加、実施率の向上を目指す。							
	事業概要	平成28年度まではジュニア育成とシニアスポーツ振興をテーマに実施していたが、現役世代にもアプローチするため、平成29年度より生涯スポーツ推進事業実行委員会に組織替えし、スポーツプログラムの提供や地域のスポーツ指導者向けの講習会などを実施している。							
基礎データ (事業のための資産 利用者等の情報)	参加団体: 体育協会加盟32団体、レクリエーション協会6団体、スポーツ推進委員 一事業における基本上限額20万円、一団体あたりの企画事業上限数2事業、豊島区生涯スポーツ推進事業経費で事業経費の捻出が難しい団体(ゴルフ、バドミントン、バスケット等)は、東京都の同様事業から補助金を得て実施している。								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度 目標(計画)	3年度 (実績)	4年度 (計画値)
	① 事業参加延べ人数		↗	人	6,262	964	4,500	2,068	4,000
	②								
	③								
指標の説明	幅広い世代がスポーツに親しんでいることを確認するため、各事業の参加者人数を指標としている。								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの影響により事業の中止があったため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)	親子弓道体験教室、親子バドミントン教室、ジュニアフットボールクリニック、ジュニア育成野球体験会、親子ふれあい子育て体操教室、ジュニアゴルフ教室。							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度 目標(計画)	3年度 (実績)	4年度 (計画値)
	① 事業実施回数		↗	回	22	6	27	13	24
	②								
③									
指標の説明	幅広い世代がスポーツに親しむことができる環境がどの程度あるのかを確認するため、事業の実施回数を指標としている。								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの影響により事業の中止があったため。						

2. 事業費の推移									
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)		
事業費	A	2,850	991	2,907	1,577	54.2%	2,907	1,330	
人件費	【正規(人数)】	(0.10)	(0.10)	—	(0.20)		(0.10)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)			—	
	人件費 B	B	850	850	—	1,700		850	-850
事業費(人件費含む)	C=A+B	3,700	1,841	—	3,277		3,757	480	
財源内訳	国、都支出金								0
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	3,700	1,841	—	3,277		3,757	480	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナの影響により事業の中止等が続いていたが、感染状況が落ち着けば事業活動の再開が見込まれる。ジュニアから一般世代にいたる幅広い世代がスポーツに親しむ機会を提供できる事業であり、区民のスポーツ実施率の向上やスポーツによる人や地域とのつながりを助長することが大いに期待できる事業と言える。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0504 - 05

事務事業名	スポーツ施設の管理・運営	担当組織	文化商工部	学習・スポーツ課
-------	--------------	------	-------	----------

事業特性														
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	8	—	2	—	2	—	2
	単独／補助	区単独事業		運営形態	指定管理者									
事業を構成する予算事業	①	豊島体育館管理運営経費			②	巣鴨体育館管理運営経費								
	③	雑司が谷体育館管理運営経費			④	池袋スポーツセンター管理運営経費								
	⑤	南長崎スポーツ公園管理運営経費			⑥	総合体育場管理運営経費								
	⑦	西巣鴨体育場管理運営経費			⑧	荒川野球場管理運営経費								
	⑨	三芳グラウンド管理運営経費			⑩	健康プラザとしま管理経費 など								

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち				政策	生涯学習・生涯スポーツの推進				
施策	スポーツ・レクリエーション活動の推進【重点】				施策番号	8-2-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	年齢や健康状態、障害の有無にかかわらず、誰もが生涯を通してスポーツに親しむことができる環境を整備します。									

1. 事業の概要										
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民及び一般利用者								
	事業の目的・期待する効果	民間のノウハウを活用したスポーツ施設の維持管理・運営により、区民のスポーツ推進や健康増進を図る。								
	事業概要	指定管理者制度による区立体育施設の管理・運営								
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	【区立体育施設】豊島体育館、巣鴨体育館、雑司が谷体育館、池袋スポーツセンター、南長崎スポーツセンター、総合体育場、西巣鴨体育場、荒川野球場、三芳グラウンド 【指定管理者】豊島区体育協会グループ、東京ドームグループ、コナミスポーツ株式会社、ビーウォッシュ・アズビル共同事業体、ビーウォッシュ・豊島区体育協会・太平ビルサービスグループ、アシックス・ハリマ・日本水泳振興会共同事業体、日本テニス事業協会共同事業体									
	事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		①	「週に1回以上スポーツを実施する」18歳以上の区民の割合	↗	%	30.5	28.5	60.0	49.0	60.0
		②	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」と思う区民の割合	↗	%	21.2	17.7	24.0	17.7	25.0
		③								
	指標の説明	①区民がどれくらいスポーツに親しんでいるかを測る指標 ②区民の多様なニーズに対応したスポーツ活動の環境づくりができていないかを測る指標								
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、区民の方がスポーツを実施する機会が減少した。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	○区立体育施設の管理・運営 ○区立体育施設の維持管理・修繕 ○指定管理料や光熱水費等の支払い ○新型コロナウイルス感染症対応など								
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		①	指定管理者による施設運営数	→	施設	9	9	9	9	9
		②	区立体育施設利用者数	↗	人	1,241,402	705,589	800,000	895,099	1,000,000
		③								
	指標の説明	①区立体育施設の指定管理者導入施設数 ②区立体育施設の年間利用者数の合計								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	532,823	602,808	799,958	608,313	76.0%	545,125	-63,188	
人件費	【正規(人数)】	(3.40)	(3.40)	—	(3.40)		(3.40)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	28,900	28,900	—	28,900		28,900	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	561,723	631,708	—	637,213		574,025	-63,188	
財源内訳	国、都支出金		88,053	3,600	67,319			-67,319	
	使用料・手数料	D	49,072	48,475	53,967	49,149		47,426	-1,723
	地方債・その他		20,000						0
一般財源	E=C-D	512,651	475,180	—	520,745		526,599	5,854	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 スポーツ庁の社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドラインを踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、指定管理者と連携しながら適切に施設運営を行った。新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休館や利用制限等により、令和元年度以降、施設利用者数が減少しているが、令和3年度は前年度比26.86%増となった。引き続き、指定管理者のノウハウを生かした事業の展開や新たな屋外スポーツ施設の整備を進め、区民のスポーツ参加機会

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0504 - 07

事務事業名	中学校地域スポーツクラブの育成モデル事業経費	担当組織	文化商工部	学習・スポーツ課
-------	------------------------	------	-------	----------

事業特性						
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営			
事業を構成する予算事業	① 中学校スポーツクラブの育成モデル事業経費			②		

政策体系（令和3年度基本計画）						
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	政策	生涯学習・生涯スポーツの推進			
施策	スポーツ・レクリエーション活動の推進【重点】	施策番号	8-2-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本への推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市		
施策の目標	区内の関係団体と連携し、各種スポーツ大会や次代を担うジュニア育成、シニアの健康づくりにつながる講座や教室等を開催し、地域における区民のスポーツ・レクリエーション活動を支援します。					

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	区民(おもに小中高生、一般)							
	事業の目的・期待する効果	活動の拠点となる地域施設を中心に、多様性を持ち、地域住民個々のニーズに応じた活動が質の高い指導者の下で行えるスポーツクラブを育成する。							
	事業概要	国が推進する地域スポーツ制度に則って出来た組織であり、地域の方々とボランティア指導者を中心に学校を拠点として子ども達などにスポーツに親しむ場の提供を行っている。							
基礎データ (事業のための資産利用者等の情報)	活動：西巣鴨中学校校庭 年会費：幼児・小中学生：3000円、高校生・65歳以上：4000円、一般：5000円、親子(幼児、小中学生とその親)：1組7000円								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	①	西巣鴨中学校地域スポーツクラブ会員数	↗	人	138	0	160	0	160
	②								
	③								
指標の説明									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの影響により募集中止						
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)								
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	①	西巣鴨中学校地域スポーツクラブ種目数	→	種目	4	0	4	0	4
	②								
③									
指標の説明									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの影響により募集中止						

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目：千円 人数の項目：人)		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	421	46	421	54	12.8%	421	367
人件費	【正規(人数)】	(0.10)	(0.20)	—	(0.20)		(0.20)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	850	1,700	—	1,700		1,700
事業費(人件費含む)	C=A+B	1,271	1,746	—	1,754		2,121	367
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
	一般財源	E=C-D	1,271	1,746	—	1,754		2,121

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナの影響により、令和2・3年度と中止になったが、令和4年度は事業を再開している。地域住民がスポーツに親しむ機会を提供し、地域における健康で明るい生活の実現に貢献することも本事業の目的として掲げている。小学生から一般の方にいるまで、多くの世代がスポーツを楽しむことができる貴重な場となっている。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0504 - 09

事務事業名	生涯学習推進協議会経費	担当組織	文化商工部	学習・スポーツ課
-------	-------------	------	-------	----------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① 生涯学習推進協議会経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち				政策	生涯学習・生涯スポーツの推進			
施策	学びを通じた仲間づくり・地域づくり				施策番号	8-2-3 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標	学習が個人のレベルで完結することなく、学習過程や活動成果を地域に還元し、自ら社会参画しながら学びあう仕組みづくりやネットワークの構築に努めます。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民							
	事業の目的・期待する効果	生涯学習施策の方向性を定め、区民がより利用しやすい生涯学習事業を展開できるようにする。							
	事業概要	学識経験者、生涯学習団体、公募委員からなる協議会を年間数回開催し、より計画的、具体的な施策等を提言すると同時に、区計画の進捗管理を行う。							
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	第六期生涯学習推進協議会構成：学識経験者3名、生涯学習関係団体推薦4名、公募区民3名 計10名 任期平成30年12月11日～令和2年12月10日（2年間） 第七期生涯学習推進協議会構成：学識経験者3名、生涯学習関係団体推薦4名、公募区民3名 計10名 任期令和3年4月～令和5年3月（2年間）								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）	3年度（実績）	4年度（計画）
	①	「学んだことを地域で生かして活動している」について肯定的な回答をする区民の割合	↗	%	9	8.5	10	8.5	9
	②								
	③								
指標の説明	2年度までは「地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が増えている」について肯定的な回答をする区民の割合、3年度からは「学んだことを地域で生かして活動している」について肯定的な回答をする区民の割合。								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症による活動の減少。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	3年度に実施した具体的な業務内容 新型コロナウイルス感染症の影響で生涯学習推進協議会やワーキンググループの活動ができなかった。							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）	3年度（実績）	4年度（計画）
	①	生涯学習推進協議会の開催数	→	回	11	0	2	0	2
	②	ワーキンググループの活動回数	→	回	0	0	2	0	0
③									
指標の説明	①生涯学習推進協議会の開催数（本委員会・小委員会） ②ワーキンググループ（生涯学習推進協議会の依頼を受けて生涯学習に関する調査を行う）								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症による会議開催の中止。						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	480	1,185	286	1	0.3%	508	507	
人件費	【正規（人数）】	(0.30)	(0.10)	—	(0.10)		(0.10)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】			—				—	
	人件費 B	B	2,550	850	—	850		850	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	3,030	2,035	—	851		1,358	507	
財源内訳	国、都支出金								0
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	3,030	2,035	—	851		1,358	507	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 新型コロナウイルス感染症対策のため、十分な事業実施ができなかったこともあり、生涯学習推進協議会の今期のテーマ予定である「生涯学習推進ビジョンの評価」についての検討材料が不十分で、協議会の開催に至らなかった。令和4年度に仕切り直し、検討を進めたい。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0504 - 12

事務事業名	生涯学習推進経費	担当組織	文化商工部	学習・スポーツ課
-------	----------	------	-------	----------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.				
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営							
事業を構成する予算事業	① 生涯学習推進事業経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち			政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進				
施策	地域を担う人材・団体の育成支援			施策番号	1-2-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 様々な地域と共生・交流を図り、豊かな生活を実現できるまち			
施策の目標	区民の主体的な活動を支援するとともに、地域活動団体の充実・強化を図り、地域活動の担い手の育成を推進します。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民							
	事業の目的・期待する効果	区民の自主的な学習活動の充実、参加機会の提供（日曜教室）、参加への弊害の緩和（保育）、将来の指導者の育成（青少年指導者養成）							
	事業概要	誰もが生涯学習活動に参加できるように、相談体制を整えるとともに、生涯学習保育や講師（としま出前講座・としま人材バンク）の派遣、自主的活動への支援を行う。また、生涯学習活動として、知的障害者支援事業（日曜教室）、青少年指導者養成事業（ジュニアリーダー講習会）を実施する。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	①生涯学習保育者：保育士・幼稚園教諭・看護師のいずれかの資格を有している方 ②日曜教室（つばさクラブ）：区内在住・在勤者で、18歳以上の中継知的障害（東京都交付『愛の手帳』3・4度に相当）のある方 ③青少年指導者養成（ジュニアリーダー講習会）：集団生活ができる区内在住・在学の小学4年生から中学3年生								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 生涯学習保育延べ保育児数	↗	人	948	473	750	313	500
		② 日曜教室（つばさクラブ）活動登録受講者数	↗	人	63	0	60	54	51
		③ ジュニアリーダー講習会参加者延べ人数	↗	人	398	0	120	182	160
指標の説明	①保育を行った乳幼児の延べ人数、②年間登録受講者の人数、③年間登録受講者の延べ参加者数								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症のまん延を受けて、活動が中止になったり、参加を自粛された方が出たため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	①生涯学習保育：事業主催者のグループに派遣。年1回の説明 ②日曜教室（つばさクラブ）：新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため活動時間を短縮して実施 ③青少年指導者養成（ジュニアリーダー講習会）：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン活動や日帰りキャンプなどを交えて実施							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 生涯学習保育登録者	↗	人	28	32	32	32	35
		② 日曜教室（つばさクラブ）活動日数	↗	日	15	0	12	5	15
		③ ジュニアリーダー講習会活動日数	↗	日	12	0	6	6	8
指標の説明	①登録している生涯学習保育者の人数、②年間活動日数、③キャンプを含む年間活動日数								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症感染防止のため、対面での活動を中止したことによる。						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)		
事業費	A	9,204	646	10,602	2,973	28.0%	11,999	9,026	
人件費	【正規（人数）】	(1.60)	(0.10)	—	(0.10)			—	
	【会計年度任用職員等（人数）】			—				—	
	人件費 B	B	13,600	850	—	850		0	-850
事業費（人件費含む）	C=A+B	22,804	1,496	—	3,823		11,999	8,176	
財源内訳	国、都支出金								0
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他		378	0	457	191		738	547
	一般財源	E=C-D	22,426	1,496	—	3,632		11,261	7,629

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な事業実施には至らなかったが、オンラインを活用するなど学びを止めない工夫を行った。引き続き、ウィズコロナも見据えて、区民の学習機会の充実や学習支援に努める。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0504 - 13

事務事業名	若者支援事業経費	担当組織	文化商工部	学習・スポーツ課
-------	----------	------	-------	----------

事業特性					
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営	計画事業No.	8 - 2 - 3 - 2
事業を構成する予算事業	① 若者支援事業経費			②	

政策体系（令和3年度基本計画）					
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	政策	生涯学習・生涯スポーツの推進		
施策	学びを通じた仲間づくり・地域づくり	施策番号	8-2-3	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標	
施策の目標	学習が個人のレベルで完結することなく、学習過程や活動成果を地域に還元し、自ら社会参画しながら学びあう仕組みづくりやネットワークの構築に努めます。				

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	おおむね高校生から30代の若者(高校生、大学生、専門学校生、及び社会人、休学中、休業中の方)							
	事業の目的・期待する効果	若者が気軽に立ち寄れる場として整備したみらい館大明内ブックカフェ(旧図書室)を拠点とし、引きこもりや不登校、学校中退等といった社会からの孤立化予防事業を実施する。若者が地域で学び活動することで、まちが活性化していく。							
	事業概要	旧大明小学校の元図書室にブックカフェを開業し、区とNPO法人が協働で事業を実施している。コーディネーターが常駐し、読書や会話をできる場として機能している。また、コーディネーターによる講座や、ブックカフェの利用者自身が企画する講座も実施している。新型コロナウイルス感染症により開館日数は減少したが、オンラインにて事業を展開し、若者が学びを通じて地域との接点が途切れないように試みている。							
基礎データ (事業のための資産 利用者等の情報)	<ul style="list-style-type: none"> みらい館大明(NPO法人いけぶくろ大明)との協働事業 若者が不登校や引きこもりにならないための予防事業としての位置づけ 若者と地域との接点をつくる場所 若者の自己肯定感を育むための事業の展開 								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 若者学びあい事業への参加者数	→	人	2763	730	750	701	750
		② 若者学びあい事業の講座数	→	回	185	43	50	77	80
		③ プロジェクトのメンバーが主体となって行ったイベント	→	回	64	1	5	2	5
	指標の説明	①若者学びあい事業として実施した講座の参加者数 ②若者学びあい事業として実施した講座の数 ③②のうち、プロジェクトとして活動している団体が主催して実施したイベントの数(令和2年度よりカウント方法変更)							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症により講座の定員数を大幅に縮小して実施したため、参加者数が目標値に達しなかった。					
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域における若者の学びあいの場づくり 若者を対象とした講座の実施(ブックカフェコーディネーター企画、プロジェクトメンバーが主体のイベント) オンラインでの事業実施 大学生のためのワークスペースの実施 							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① ブックカフェの来館者数	→	人	7273	630	700	423	450
		② ブックカフェの開館日数	→	日	292	236	240	148	150
	指標の説明	①ブックカフェに足を運んだ方の総数(オンライン開館時の参加者を含む) ②ブックカフェを開館した日数(オンライン開館を含む)							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症による閉館等により、開館日数・来館者数が目標値に届かなかった。					

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	1,800	1,800	1,600	1,600	100.0%	1,800	200
人件費	【正規(人数)】	(0.30)	(0.10)	—	(0.10)		(0.10)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)		—				—
人件費	B	2,550	850	—	850		850	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	4,350	2,650	—	2,450		2,650	200
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	4,350	2,650	—	2,450		2,650	200

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

みらい館大明との協働による若者支援事業は、若年層の居場所づくりとして必要である。今後、みらい館大明だけではなく、すずらんスマイルプロジェクトをはじめとする若年女性や若年層に対する支援施策とも情報共有を図り、同様の事業に取り組むNPOなどと連携していく必要がある。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0505 - 04

事務事業名	図書ネットワーク便による団体貸出事業経費	担当組織	文化商工部	図書館課
-------	----------------------	------	-------	------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	① 中央図書館管理運営経費：図書ネットワーク便による団体貸出事業経費	②		計画事業No. 8 - 2 - 1 - 5

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	政策	生涯学習・生涯スポーツの推進	
施策	多様な学習活動への支援	施策番号	8-2-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 日本一の推進力の一翼を担う国際アートカルチャー都市
施策の目標	図書館や地域文化創造館など、多様な学習ニーズに対応した身近な生涯学習の場づくりをすすめます。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	区立幼稚園・小中学校、子どもスキップ、区民ひろば、区内六大学、来館困難者宅							
	事業の目的・期待する効果	区立図書館、区立小中学校・幼稚園、区民ひろば、子どもスキップ及び区内六大学等との間で図書を運搬する交換便を運行し、図書資料等の相互利用を容易にすることで団体貸出、読み聞かせ事業などにつなげることにより、読書活動を推進する。							
	事業概要	区立図書館、区立小中学校・幼稚園、区民ひろば、子どもスキップ及び区内六大学等との間で図書を運搬する交換便を運行し、団体貸出、読み聞かせ事業などに活用する。							
基礎データ (事業のための資産利用者等の情報)	①区立幼稚園3園、区立小学校22校、区立中学校8校 ②区内六大学(学習院大学、女子栄養大学、大正大学、帝京平成大学、東京音楽大学、立教大学) ③区民ひろば22施設、子どもスキップ22施設								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	① 団体貸出冊数(小学校)		↗	冊	36899	13802	42500	23344	37000
	② 団体貸出冊数(中学校)		↗	冊	833	95	1400	181	1000
	③								
	指標の説明	①区立小学校からの団体貸出利用申込冊数 ②区立中学校からの団体貸出利用申込冊数							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの影響で、かなり実績減となったが、3年度はだいぶ戻ってきた。						
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)	○交換便の運行 ・幼稚園、小中学校：毎週2回 ・区民ひろば：毎月1回 ・子どもスキップ：毎月1回							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	① 運搬コンテナ数		↗	個	1787	942	1900	1386	1800
	②								
	③								
指標の説明	①対象施設への団体貸出を行った図書の運搬コンテナ数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの影響で、かなり実績減となったが、3年度はだいぶ戻ってきた。						

2. 事業費の推移								
単位 (金額の項目：千円 人数の項目：人)	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)	
事業費	A	2,885	2,898	3,006	2,794	92.9%	3,014	220
人件費	【正規(人数)】	(0.20)	(0.20)	—	(0.20)		(0.20)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】			—				—
	人件費 B	B	1,700	1,700	—	1,700		1,700
事業費(人件費含む)	C=A+B	4,585	4,598	—	4,494		4,714	220
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	4,585	4,598	—	4,494		4,714	220

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

必要な人に本を届けるサービスとしては有効であるが、保管スペースの問題や資料費の確保の観点から事業の新たな展開につなげていくことが難しい。ニーズが高い事業であるため、更なる工夫とともに中長期的な展開についても今後検討が必要である。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0505 - 05

事務事業名	子どもの読書活動支援事業経費	担当組織	文化商工部	図書館課
-------	----------------	------	-------	------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 中央図書館管理運営経費：子どもの読書活動支援事業経費		②	計画事業No. 8 - 2 - 1 - 4

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	政策	生涯学習・生涯スポーツの推進	
施策	多様な学習活動への支援	施策番号	8-2-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 子どもと女性にやさしいまち
施策の目標	図書館や地域文化創造館など、多様な学習ニーズに対応した身近な生涯学習の場づくりをすすめます。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	区民(0歳から12歳までの子どもと保護者)							
	事業の目的・期待する効果	読み聞かせボランティアを養成し、子ども施設等(保育園・子どもスキップ・区民ひろば)に派遣することで、地域での読み聞かせの場を広げ、子ども読書活動の推進を図る。							
	事業概要	子ども施設(保育園・子どもスキップ・区民ひろば・民間施設等)へ読み聞かせボランティアを派遣するボランティア人材バンクを運営する。また、ボランティアの育成を図るための養成講座やフォローアップ研修を実施する。							
基礎データ (事業のための資産利用者等の情報)	豊島区の12歳以下の人口は、22,998人(「住民基本台帳」令和3年4月1日現在)								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 読み聞かせボランティアによるおはなし会参加者数	↗	人	10,320	0	10320	0	10320
		② 児童(12歳以下)の登録者数	↗	人	10,569	9700	10900	9683	9800
		③ 児童(12歳以下)の図書貸出冊数	↗	冊	329,846	280196	370000	420589	450000
	指標の説明	①区内子ども施設へ読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会に参加した、児童と保護者の延べ人数。 ②区立図書館に利用登録をしている12歳以下の児童数。 ③②の登録者が、区立図書館で借りた図書資料の冊数。							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナ感染症拡大防止のため、区施設へボランティアを派遣して実施するおはなしが、中止となった。					
事業の取組実績	3年度の取組内容	○子ども施設等(保育園・子どもスキップ・区民ひろば)のおはなし会：新型コロナ感染症拡大防止のため中止。 ○読み聞かせボランティア養成講座(全7回)実施							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 読み聞かせボランティア登録数	→	人	53	52	60	62	62
		② 読み聞かせボランティア派遣回数	↗	回	313	0	340	0	340
	③ 読み聞かせボランティア派遣人数	↗	人	1,072	0	1,300	0	1,300	
	指標の説明	①ボランティア登録数は、毎年度登録を更新した読み聞かせボランティアの人数。登録期間は1年間。 ②区内子ども施設のおはなし会へ読み聞かせボランティアを派遣した回数。 ③おはなし会へ派遣した読み聞かせボランティアの延べ人数。							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナ感染症拡大防止のため、区施設へボランティアを派遣して実施するおはなしが、中止となった。					

2. 事業費の推移								
単位 (金額の項目：千円 人数の項目：人)	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)	
事業費	A	3,395	33	396	392	99.0%	44	-348
人件費	【正規(人数)】	(0.20)	(0.20)	—	(0.20)		(0.20)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】			—				—
	人件費 B	B	1,700	1,700	—	1,700		1,700
事業費(人件費含む)	C=A+B	5,095	1,733	—	2,092		1,744	-348
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
	一般財源	E=C-D	5,095	1,733	—	2,092		1,744

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

本事業のニーズは高く、子どもへの読書活動推進の観点からも重要な事業である。また、ボランティア養成とともに活動の場の提供は、区民の地域参加の場としても有効であり、本事業の意義は大きい。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0505 - 06

事務事業名	点字図書館運営経費	担当組織	文化商工部	図書館課
-------	-----------	------	-------	------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助 + 区上乗せ事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 点字図書館（ひかり文庫）運営経費	②		計画事業No. 8 - 2 - 1 - 3

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	政策	生涯学習・生涯スポーツの推進	
施策	多様な学習活動への支援	施策番号	8-2-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	図書館や地域文化創造館など、多様な学習ニーズに対応した身近な生涯学習の場づくりをすすめます。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	点字図書館ひかり文庫の利用者及び全国の視覚障害者							
	事業の目的・期待する効果	視覚障害者の読書等の機会の充実							
	事業概要	「身体障害者福祉法」に基づいて厚生労働省が認可する視覚障害情報提供施設として、点字図書、録音図書、拡大写本図書等の蔵書製作、貸出、対面朗読、点字指導を実施する。また、図書資料を製作するボランティアを養成、育成するために、点訳講習会、音訳講習会、拡大写本製作講習会を開催する。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	利用登録者数:588人 点字図書所蔵数:2,074タイトル、 録音図書（テープ、デジジー、テキストデジジー）所蔵数:4,584タイトル								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 点字図書貸出数	↗	タイトル	2,748	2,886	2,900	2,703	2,900	
	② 録音図書貸出数	↗	タイトル	39,140	39,719	43,000	42,723	44,000	
	③ 相互貸借数	↗	タイトル	7,813	7,632	8,000	7,483	8,000	
	指標の説明	①点字図書・雑誌の貸出数 ②録音図書・雑誌（テープ、デジジー、テキストデジジー）の貸出数 ③全国の図書館との相互貸借 ※①から③にWeb図書館からのダウンロードによるものも含む							
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	録音図書の貸出は増加しているが、点字図書の貸出は減少傾向にある。						
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	○自館蔵書製作数 点字図書:21タイトル 録音図書（デジジー、テキストデジジー）:72タイトル ○ボランティア養成講座:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○対面朗読:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○点字指導:128回							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 点字図書蔵書数（自館製作分）	↗	タイトル	908	935	980	956	980	
	② 録音図書蔵書数（自館製作分）	↗	タイトル	2,592	2,595	2,600	2,583	2,600	
	③								
指標の説明	①ボランティアが製作した点字図書の蔵書数 ②ボランティアが製作した音訳図書（デジジー、テキストデジジー）の蔵書数								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナの影響で活動を控えた部分が影響した。						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目:千円 人数の項目:人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)		
事業費	A	10,310	10,402	12,871	10,714	83.2%	15,995	5,281	
人件費	【正規(人数)】	(6.00)	(5.00)	—	(2.45)		(2.45)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(2.00)	(4.00)	—				—	
	人件費 B	B	58,200	56,900	—	20,825		20,825	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	68,510	67,302	—	31,539		36,820	5,281	
財源内訳	国、都支出金		13,757	16,030		15,995		15,995	0
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他		349						0
	一般財源	E=C-D	54,404	51,272	—	15,544		20,825	5,281

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

本来は各自治体の図書館にあるべき点字図書館であるが、全国でも数少ない直営かつ区立図書館による運営の図書館であることの意義は大きい。障害者差別解消法、読書バリアフリー法などの法整備が進む中、より一層重要度が増す事業である。